

3 水質関係

(1) 健康項目測定地点数（河川）

番号	河川名	調査地点数
1	比謝川	3
2	国場川	3
3	満名川	2
4	福地川	1
5	天願川	3
6	漢那川	1
7	羽地大川	2
8	我部祖河川	4
9	新川川	2
10	安波川	2
11	普久川	2
12	汀間川	2
13	久茂地川	2
14	安里川	2

番号	河川名	調査地点数
15	安謝川	2
16	報得川	1
17	牧港川	2
18	辺野喜川	2
19	饒波川	2
20	源河川	1
21	平南川	1
22	大保川	3
23	宮良川	1
24	名蔵川	1
25	雄樋川	2
26	億首川	1
合計		50

(2) 健康項目測定結果（河川）

測定項目	調査地点数	環境基準超過地点数
カドミウム	42	0
全シアン	42	0
鉛	42	0
六価クロム	42	0
砒素	42	0
総水銀	42	0
アルキル水銀	42	0
P C B	42	0
ジクロロメタン	42	0
四塩化炭素	42	0
1,2-ジクロロエタン	42	0
1,1-ジクロロエチレン	42	0
トリス-1,2-ジクロロエチレン	42	0
1,1,1-トリクロロエタン	42	0

測定項目	調査地点数	環境基準超過地点数
1,1,2-トリクロロエタン	42	0
トリクロロエチレン	42	0
テトラクロロエチレン	42	0
1,3-ジクロロプロペン	42	0
チウラム	42	0
シマジン	42	0
チオベンカルブ	42	0
ベンゼン	42	0
セレン	42	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	42	0
ふっ素	39	0
ほう素	39	0
1,4-ジオキサソ	42	0
合計	1,128	0

(3) 河川水質の環境基準達成状況 (BOD75%値)

河川 No.	水域 No.	環境基準 類型指定 水域名	類 型	基 準 値	環 境 基 準 点										
						H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
1	1	比謝川(1)	B	3	比謝川ポンプ場	1.1	0.9	2.9	1.6	0.8	1.3	0.9	0.7	1.1	0.8
	2	比謝川(2)	C	5	トニー橋	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3	比謝川(3)	C	5	与那原川合流点	2.2	2.1	2.4	2.6	2.6	1.6	1.7	1.3	1.3	1.8
2	4	国場川(1)	C	5	那覇大橋	2.4	2.0	2.4	1.8	1.7	1.3	1.3	2.5	2.4	1.2
	5	国場川(2)	E	10	真玉橋	4.2	3.4	4.9	4.3	4.5	2.8	2.2	3.6	4.5	1.8
3	6	清名川(1)	A	2	渡久地橋	1.6	1.7	2.0	1.2	0.9	0.8	1.2	1.6	<0.5	<0.5
	7	清名川(2)	A	2	伊野波川合流点	1.6	1.1	1.1	1.2	0.5	1.1	1.0	1.7	1.0	<0.5
4	8	福地川	A	2	福地ダム	0.6	0.6	0.7	<0.5	0.6	1.0	<0.5	0.5	0.7	0.7
5	9	天願川(1)	B	3	河口	1.3	1.5	1.5	0.8	1.3	0.9	1.1	0.6	1.3	1.5
	10	天願川(2)	B	3	合流点下流100m	5.2	2.1	2.1	1.9	1.8	1.4	1.2	1.2	3.5	3.2
6	11	漢那川	A	2	漢那ダム	0.6	<0.5	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	0.9	0.9	<0.5	0.8
7	12	羽地大川	A	2	名護市取水場	0.8	1.0	1.3	1.1	1.0	0.7	1.5	1.4	0.6	0.7
8	13	我部祖河川(1)	A	2	石橋	3.6	3.5	5.3	4.8	3.3	1.9	3.2	4.8	3.8	3.4
	14	我部祖河川(2)	A	2	奈佐田川合流点～上流100m	1.6	1.0	1.9	1.4	1.0	1.3	1.9	1.3	0.9	0.9
	15	我部祖河川(3)	A	2	奈佐田川合流点～支川100m	1.1	1.1	1.1	1.0	<0.5	0.5	0.5	0.6	<0.5	0.5
9	16	新川川(1)	A	2	下流の高江橋	<0.5	0.6	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	17	新川川(2)	A	2	新川ダム	0.9	1.1	0.8	0.5	0.7	1.5	1.2	0.7	1.3	0.8
10	18	安波川(1)	A	2	安波大橋	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	19	安波川(2)	A	2	長福地橋	0.5	<0.5	<0.5	0.8	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5
11	20	普久川(1)	A	2	御拝橋	0.8	0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	21	普久川(2)	A	2	御拝橋上流420mの沢	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
12	22	汀間川(1)	A	2	嘉手苜橋から上流200m	2.8	2.7	2.2	1.7	0.5	0.9	1.4	1.1	0.5	0.5
	23	汀間川(2)	A	2	三原橋	0.9	1.9	1.1	1.1	0.9	0.4	0.6	0.9	0.5	0.6
13	24	久茂地川	C	5	泉崎橋	0.6	1.1	0.8	1.1	<0.5	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7
14	25	安里川	D	8	安里新橋	1.0	1.2	1.5	1.0	1.1	0.5	0.8	0.9	0.8	1.0
15	26	安謝川	C	5	安謝橋	1.0	1.6	0.8	1.2	0.5	1.3	0.9	1.5	1.6	0.8
16	27	報得川	E	10	水位計設置点	4.3	4.4	5.3	5.8	5.2	9.2	6.6	24.0	10.0	12.0
17	28	牧港川	C	5	境橋上流50m(旧牧港取水場跡)	0.8	1.7	1.6	1.8	2.2	2.2	1.3	1.9	2.2	0.6
					大謝名橋上流200m(旧宇地泊川取水場跡)	1.0	1.1	1.3	2.4	2.4	1.8	1.5	2.0	1.0	0.6
18	29	辺野喜川	A	2	辺野喜橋	<0.5	0.5	0.8	0.9	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
19	30	饒波川	D	8	石火矢橋	4.3	2.3	4.1	3.0	4.1	3.0	5.2	3.1	2.6	3.5
20	31	源河川	A	2	取水場	1.5	1.6	0.9	1.3	0.5	0.3	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
21	32	平南川	A	2	アザカ橋下流30m	1.1	1.6	2.8	1.1	0.7	1.2	0.5	1.1	0.5	<0.5
22	33	大保川	A	2	田港橋	1.7	1.2	4.4	1.1	0.7	1.0	1.1	1.0	0.5	1.7
23	34	宮良川	A	2	平喜名橋	0.8	0.7	0.8	0.6	0.6	0.6	0.9	1.9	2.5	1.5
24	35	名蔵川	A	2	石糖取水場前	0.7	1.0	0.5	0.5	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	0.7
25	36	雄樋川	D	8	前川	2.0	3.6	5.5	3.7	3.7	2.2	1.7	1.6	1.4	1.0
					石川橋	3.9	6.1	5.3	5.3	4.1	4.8	4.1	4.9	6.6	7.5
環境基準未達成水域数						3	2	4	1	1	0	1	2	3	3
環境基準類型指定水域数						35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
達成率%(環境基準達成水域数/指定水域数×100)						91	94	89	97	97	100	97	94	91	91

※太字かつ網掛けの地点は、環境基準未達成の地点です。

3 水質関係

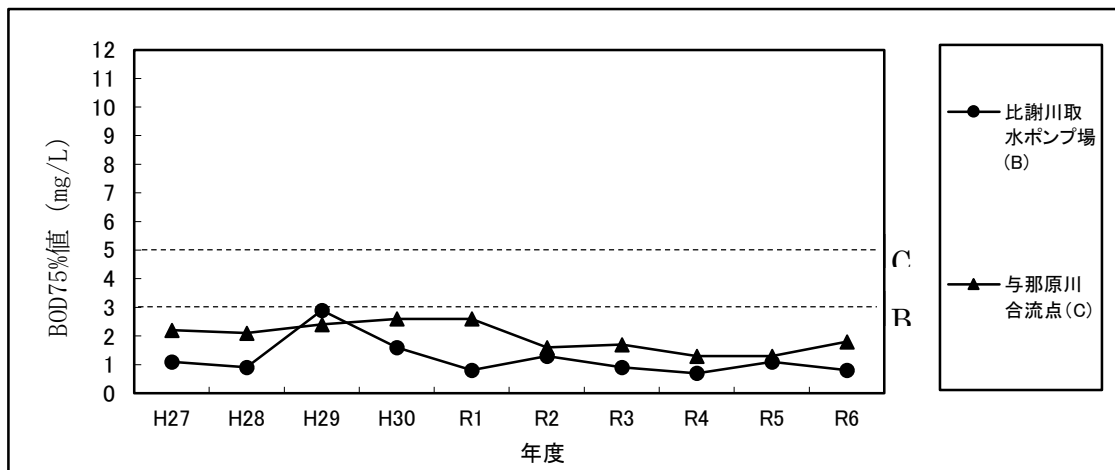
(4) 各河川の概況及び水質

ア 比謝川

比謝川は、沖縄島中部に位置し、その源を沖縄市の緩やかな丘陵地帯に発し、沖縄市市街地を南北に貫流し、沖縄市美里地先においてカフンジャー川を合流した後、流れを西方に変え与那原川（二級河川）等の支川を合流しながら、国道 58 号付近で長田川と合流し、読谷村と嘉手納町の境界で東シナ海に注ぐ幹線流路延長 21.8km（比謝川 15.4km、与那原川 6.4km）、流域面積 50.9km²の沖縄島最大の二級河川です。

昭和 48 年度に、比謝橋下流の堰^{えんてい}堤からトニー橋までと長田川を水質環境基準の B 類型（BOD 3mg/L）、トニー橋から与那原川合流点までを C 類型（BOD 5mg/L）、与那原川合流点から上流とハンザ川の昭和橋までを D 類型（BOD 8mg/L）に指定しました。その後、上流域の水質が改善傾向にあったことから、平成 15 年度末に与那原川合流点から上流の類型を見直し、平成 16 年度以降は C 類型としています。

環境基準点における水質の経年変化は、下図のとおりです。比謝川取水ポンプ場地点では平成 13 年度以降継続して環境基準を達成しています。トニー橋地点では平成 8 年度から継続して環境基準を達成しています。与那原川合流点地点では昭和 63 年度から継続して環境基準を達成しており、平成 16 年度に D 類型から C 類型に見直しましたが、その後も環境基準を達成しています。平成 24 年度に 3 水域の水域類型指定を 2 水域に改正し、それに伴って、平成 25 年度以降はトニー橋での測定を終了しています。

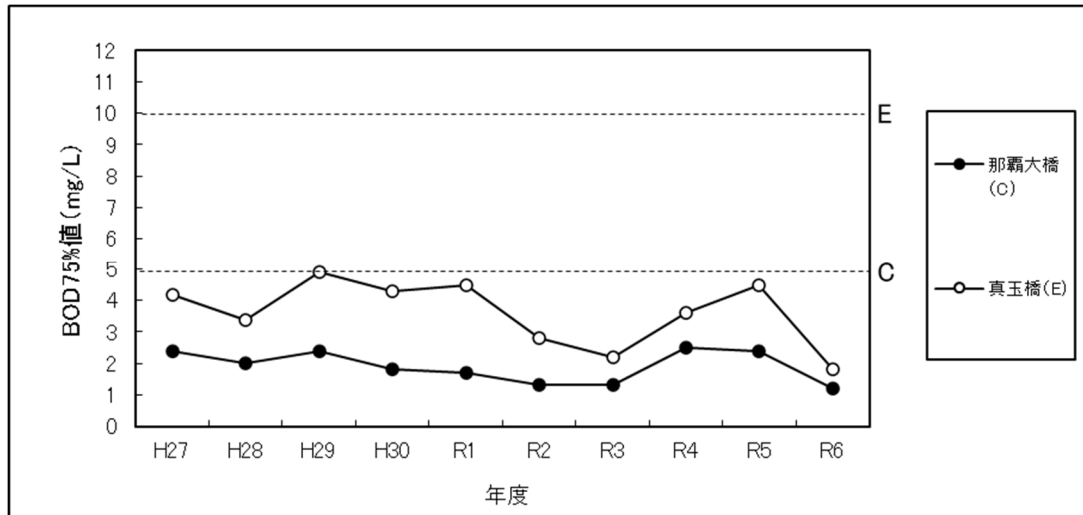


比謝川の水質（BOD75%値）経年変化

イ 国場川

国場川は、与那原町と西原町の境界にある運玉森に源を発し、準用河川の宮平川、普通河川の宮城川と合流し、那覇市と南風原町の市街地を貫流したのち、2級河川の長堂川・饒波川と合流し、河口部で2級河川の久茂地川と合流後那覇港へ注ぐ、流域面積 43.1km²、幹線流路延長 11.3kmの二級河川です。昭和 48 年度に明治橋から真玉橋を C 類型（BOD 5mg/L）、真玉橋から上流の一部を E 類型（BOD 10mg/L）に指定しています。

環境基準点における水質の経年変化は、那覇大橋及び真玉橋の両地点で改善しており、那覇大橋では平成 14 年度以降は環境基準を達成し、改善傾向が見られます。真玉橋地点では平成 12 年度以降継続して環境基準を達成し、ここ数年は横ばいとなっています。



国場川の水質 (BOD75%値) 経年変化

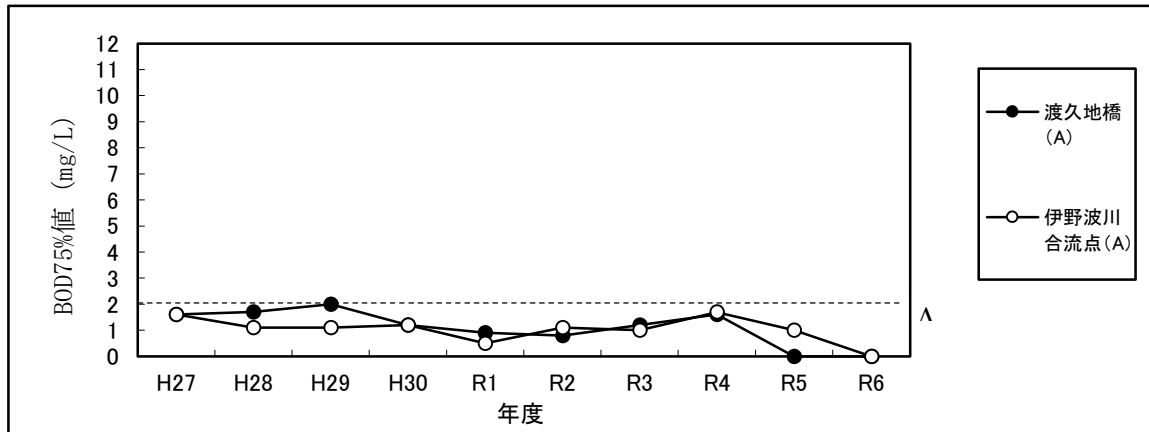
ウ 満名川

満名川は、沖縄島北部の本部町に位置し、その源を八重岳と伊豆味の山中に発し、普通河川の笹川、佐伊土間川、伊野波川（準用河川）、尻無川、ウナジャラ川の支川を合わせつつ、本部町の市街地を西に向かって流下し、東シナ海に注ぐ、流域面積 12.1km²、幹線流路延長 4.4km の二級河川です。

昭和 49 年度に伊野波川合流点から渡久地橋までを B 類型 (BOD 3mg/L) に、伊野波川合流点から上流を A 類型 (BOD 2mg/L) に指定し、翌年度から適用しました。その後、水質が改善傾向にあったことから、平成 16 年度以降は伊野波川合流点から渡久地橋までの類型を見直し、B 類型から A 類型としています。

環境基準点における水質の経年変化は、伊野波川合流点地点で昭和 58 年度は未達成となりましたが、それ以外はすべて基準を達成しています。

3 水質関係



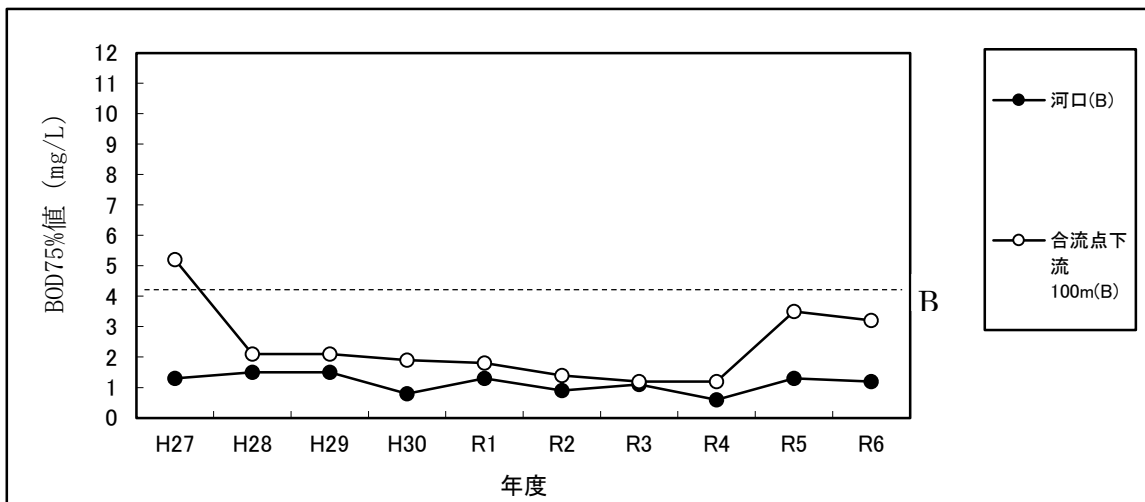
満名川の水質 (BOD75%値) 経年変化

エ 天願川

天願川は、沖縄島中部のうるま市に位置し、その源を読谷山岳に発し、川崎川(二級河川)やヌーリ川(準用河川)等を合わせ、金武湾(太平洋)に注ぐ、流域面積 31km²、幹川流路延長 10.7 kmの二級河川で、水道水源として取水されるなど利水上重要な河川です。

昭和 50 年度に企業局取水場から上流を B 類型 (BOD 3 mg/L)、下流を C 類型 (BOD 5 mg/L) に指定していましたが、その後、水質が改善傾向にあったことから、平成 16 年度以降は取水場から下流河口までの類型を見直し、B 類型としています。

環境基準点における水質の経年変化は、下図のとおりです。河口地点では昭和 62 年度より継続して環境基準を達成しています。支流の川崎川との合流点下流地点では、平成 28 年度～令和 4 年度にかけては環境基準を達成していましたが、27 年度、令和 5 年度及び令和 6 年度は環境基準を達成していません。



天願川の水質 (BOD75%値) 経年変化

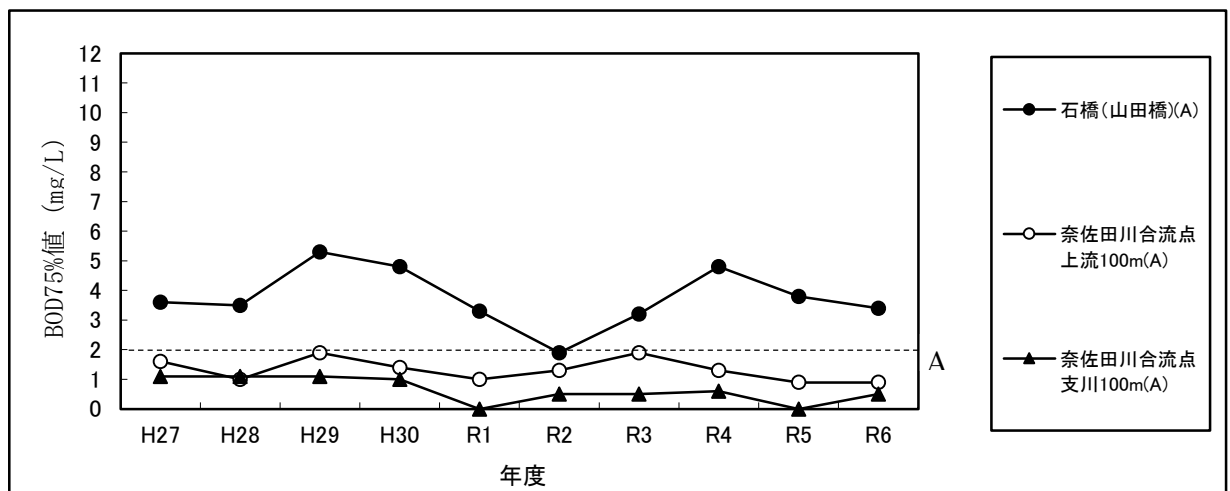
オ 我部祖河川

我部祖河川は、沖縄島北部の名護市に位置し、その源を名護岳(345.2m)に発し、北西に流下した後、喜知留川(普通河川)と合流し、平地に広がる畑の中を直線的に流れ、奈佐田川(普通河川)と合流した後は、流れを北東に転じ、河口部で蛇行して羽地内海に注ぐ、幹川流路延長 6.1km、流域面積 14.7km² の二級河川です。

昭和 50 年度に上流を A 類型 (BOD 2 mg/L)、中流を D 類型 (BOD 8 mg/L)、支流の奈佐田川を A 類型に指定していましたが、その後、水質が改善傾向にあったことから、平成 16 年度以降は中流域の類型を見直し、A 類型としています。

環境基準点における水質の経年変化は、下図のとおりです。支流の奈佐田川は平成 4 年度以降、環境基準を達成しています。我部祖河川中流(奈佐田川との合流点から上流)は D 類型の環境基準は達成していましたが、平成 16 年度から A 類型の基準を適用したところ、平成 16、18 及び 19 年度は環境基準を達成しませんでした。しかし、平成 20 年度以降は環境基準を達成しています。

上流地点の石橋(山田橋)地点では、昭和 51 年度の測定以降、平成 8、23、24 年度及び令和 2 年度以外は環境基準を達成しておらず、令和 6 年度も未達成となっています。平成 22 年度に行われた汚濁負荷量調査によると、生活排水が環境基準未達成となる原因とされています。



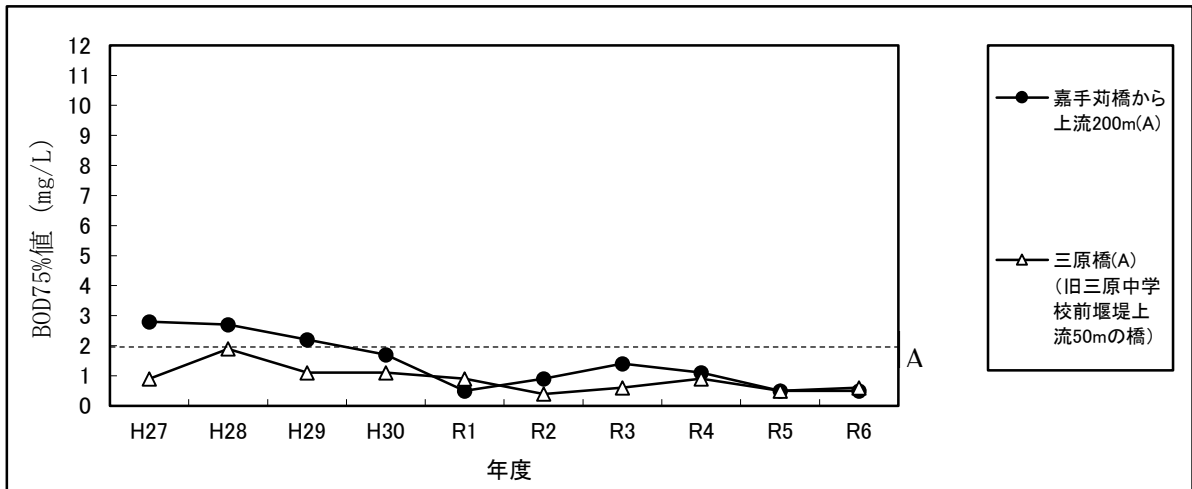
我が部祖河川の水質 (BOD75%値) 経年変化

カ 汀間川

汀間川は、沖縄島北部の名護市に位置し、東海岸の大浦湾に注ぐ流域面積 12.7km²、指定延長 4 km の河川です。昭和 52 年度に三原小中学校前堰堤から上流を A 類型 (BOD 2 mg/L)、下流を B 類型 (BOD 3 mg/L) に指定していましたが、その後、水質が改善傾向にあったことから、平成 16 年度以降は下流域の類型を見直し、A 類型としています。環境基準点における水質の経年変化は、三原橋 (旧 : 三原小中校前堰堤上流 50m の橋) では類型指定以降、昭和 56 年度以外は環境基準を達成しています。嘉手苅橋から上流 200m 地点においては、平成 27 年度から平成 29 年

3 水質関係

度にかけては、原因は不明ですが水質の悪化が生じ環境基準を達成していませんでしたが、平成30年度以降は達成しています。



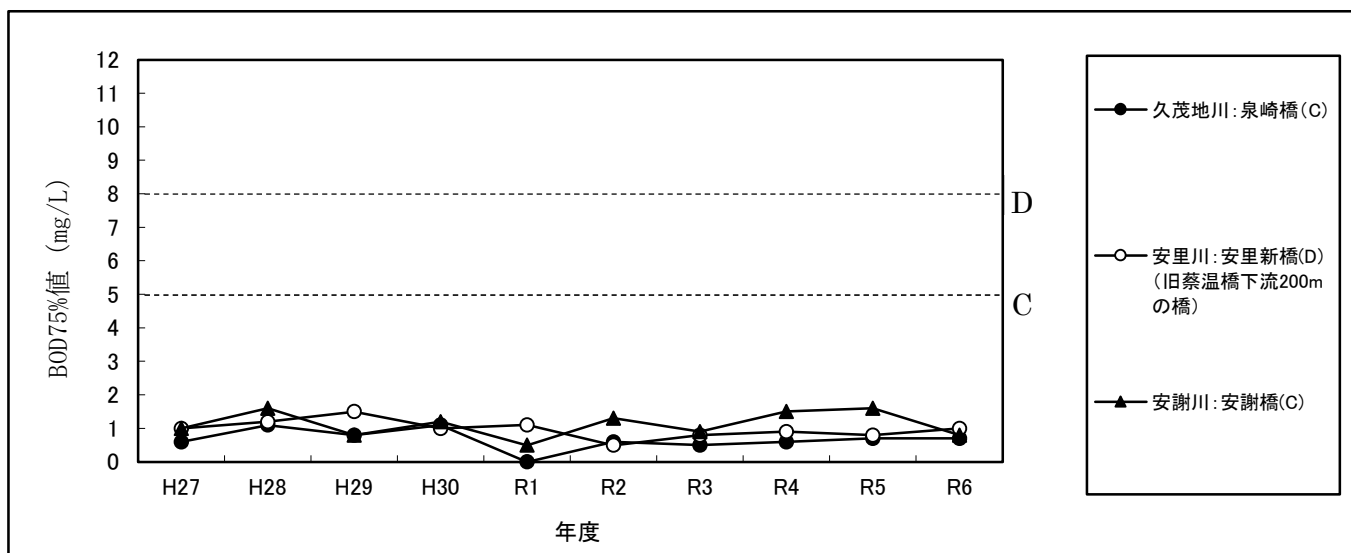
汀間川の水質 (BOD75%値) 経年変化

キ 久茂地川・安里川・安謝川

久茂地川は、那覇市泊の崇元寺付近で安里川から分岐し、明治橋を經由して那覇港に注ぐ流域面積 3.3km²、指定延長 2 km の典型的な都市河川です。昭和 53 年度に E 類型 (BOD 10mg/L) に指定していましたが、その後、水質が改善傾向にあったことから、平成 16 年度以降は類型を見直し、C 類型 (BOD 5 mg/L) としています。環境基準点における水質の経年変化は、平成 9 年度以降継続して環境基準を達成しています。

安里川は、那覇市東部の弁ヶ嶽 (標高 166m) に水源を發し、南風原町新川地先を南西方向に向かい、那覇市に入って流れを北西方向に変え、真嘉比川等の支川を合わせ、久茂地川を分流し東シナ海に注ぐ、流路延長 13.6km (安里川 7.3km、真嘉比川 3.3km、久茂地川 2 km、潮渡川 1 km)、流域面積 13.2km²の二級河川です。久茂地川と同様、昭和 53 年度に E 類型に指定しましたが、平成 16 年度以降は類型を見直し、D 類型 (BOD 8 mg/L) としています。環境基準点における水質の経年変化は、平成 9 年度以降継続して環境基準を達成しています。

安謝川は、那覇市及び浦添市に位置し、その源を那覇市首里石嶺町の標高 100～ 160m の丘陵地に發し、丘陵に広がる住宅地の中を南西に流下し支川石嶺川 (普通河川) を合わせ、中流域の末吉公園の中を流下した後に、支川沢岬川 (普通河川)、銘苜川 (普通河川) を合わせ東シナ海に注ぐ、幹川流路延長 5.7km、流域面積 8.1km²の二級河川です。昭和 53 年度に E 類型に指定しましたが、平成 16 年度以降は類型を見直し、C 類型としています。環境基準点における水質の経年変化は、平成 9 年度以降継続して環境基準を達成しています。

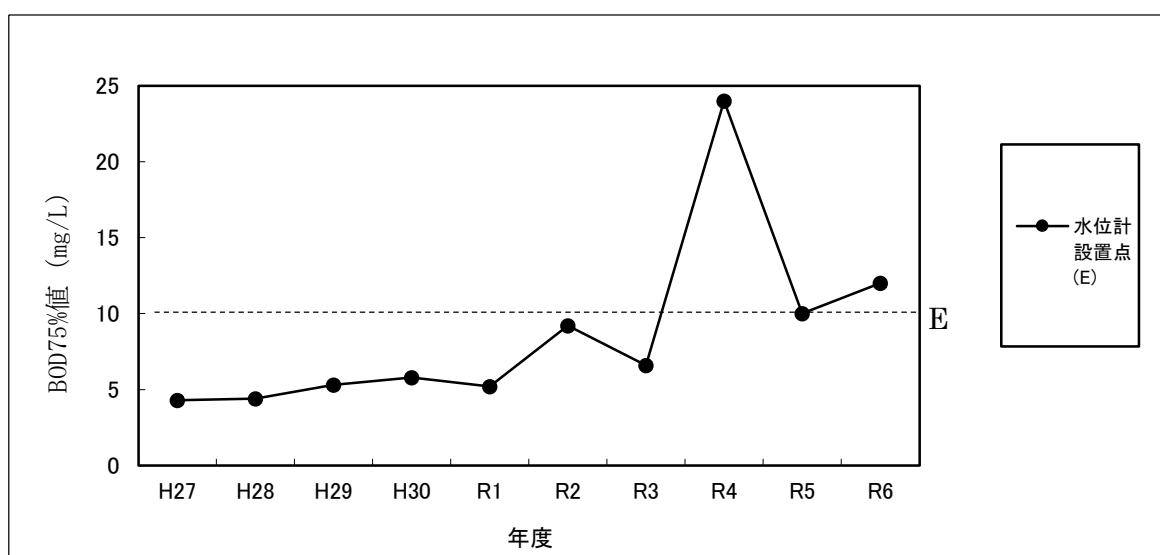


久茂地川・安里川・安謝川の水質 (BOD75%値) 経年変化

ク ^{むくえ} 報得川

報得川流域は、沖縄島南部に位置し、南城市大里稲嶺で耕作地の水を集めた小さな溝を源として、南西方向に向かい流れ、南城市、八重瀬町、糸満市をまたぎ兼城にて流路を北に向け東シナ海に注ぐ、幹線流路延長 10.8km、流域面積 19.2km² の二級河川です。

昭和 54 年度に E 類型 (BOD 10mg/L) に指定しています。環境基準点における水質の経年変化は、平成 19 年度から令和 3 年度にかけて継続して環境基準を達成していましたが、令和 4 年度及び令和 6 年度は、原因は不明ですが水質の悪化が生じ環境基準を達成していませんでした。

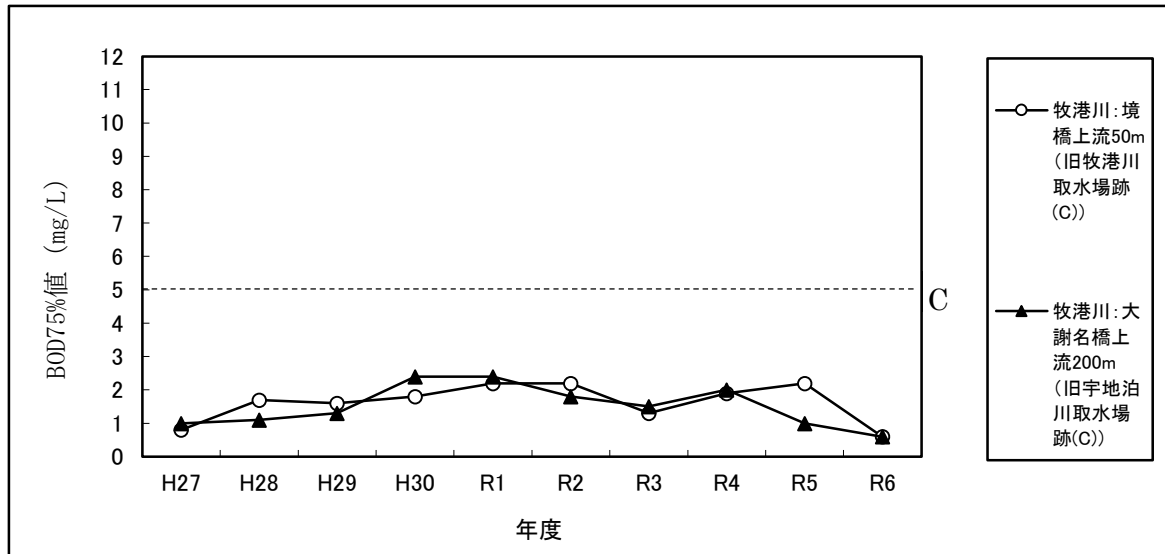


報得川の水質 (BOD75%値) 経年変化

3 水質関係

ケ 牧港川

牧港川は、西原町を源とする牧港川と宇地泊川がそれぞれ、浦添市、宜野湾市を経て国道 58 号線の付近で合流ののち牧港湾に注ぐ、流域面積 23.2km²、指定延長 9.3km(牧港川 3.3km、宇地泊川 6 km) の河川で、昭和 55 年度に C 類型 (BOD 5 mg/L) に指定しています。環境基準点における水質の経年変化は、境橋上流 50m (旧：牧港川取水場跡) では昭和 59 年度より環境基準を達成していませんでしたが、平成 21 年度以降は達成しています。大謝名橋上流 200m (旧：宇地泊川取水場跡) では平成 10 年度以降継続して環境基準を達成しています。

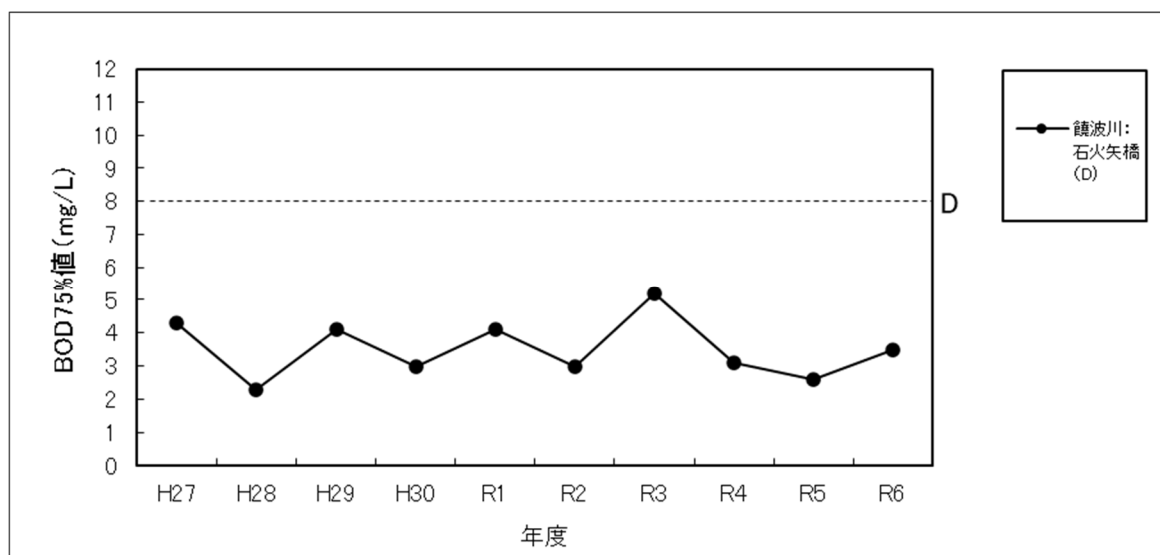


牧港川の水質 (BOD75%値) 経年変化

コ ^の 饒波川

国場川流域の南側に位置する饒波川は、大里城跡付近に源を発し、普通河川の轟川、根差部川と合流し、河口の漫湖で国場川に合流する流域面積 14.6km²、幹川流路延長 15.6km の二級河川で、昭和 58 年度に D 類型 (BOD 8 mg/L) に指定しています。

環境基準点においては、平成 12 年度以降継続して環境基準を達成しています。



饒波川の水質（BOD75%値）経年変化

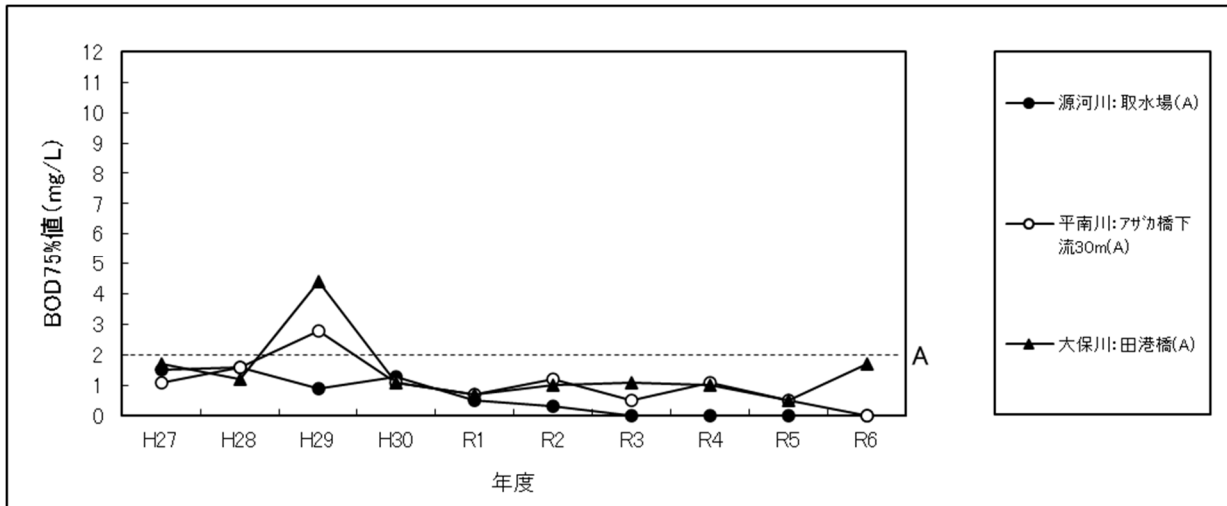
サ 源河川・^{へなん}平南川・^{たいほ}大保川

源河川は、名護市字源河の大湿帯と一ツ岳に源を發し、源河集落内を経て東シナ海に注ぐ、流域面積 20.0km²、指定延長 13.5km の河川で、昭和 62 年度に A 類型に指定しています。環境基準点における水質の経年変化はきわめて良好な状態で安定的に推移しており、類型指定以降、環境基準を達成しています。

平南川は、名護市と大宜味村に連なる山岳地帯を源として東シナ海に注ぐ流域面積 11.1 km²、河川延長 5.3km の河川で、平成元年度に A 類型に指定しています。平成 5 年度より継続して環境基準を達成していました。平成 29 年度は、原因は不明ですが水質の悪化が生じ基準を達成していませんでしたが、平成 30 年度以降は達成しています。

大保川は、沖縄島北部の大宜味村に位置し、その源を幸地山※(海拔 295m) 付近に發し、普通河川の大工又川、江洲川と合流して塩屋湾に注ぐ、流域面積 23.7km²、幹川流路延長 10.3 km の二級河川で、平成元年度に B 類型 (BOD 3 mg/L) に指定していましたが、平成 16 年度以降は、A 類型 (BOD 2 mg/L) としています。平成 5 年度より継続して環境基準を達成していました。平成 29 年度は、原因は不明ですが水質の悪化が生じ基準を達成していませんでしたが、平成 30 年度以降は環境基準を達成しています。(※地元での呼称)

3 水質関係

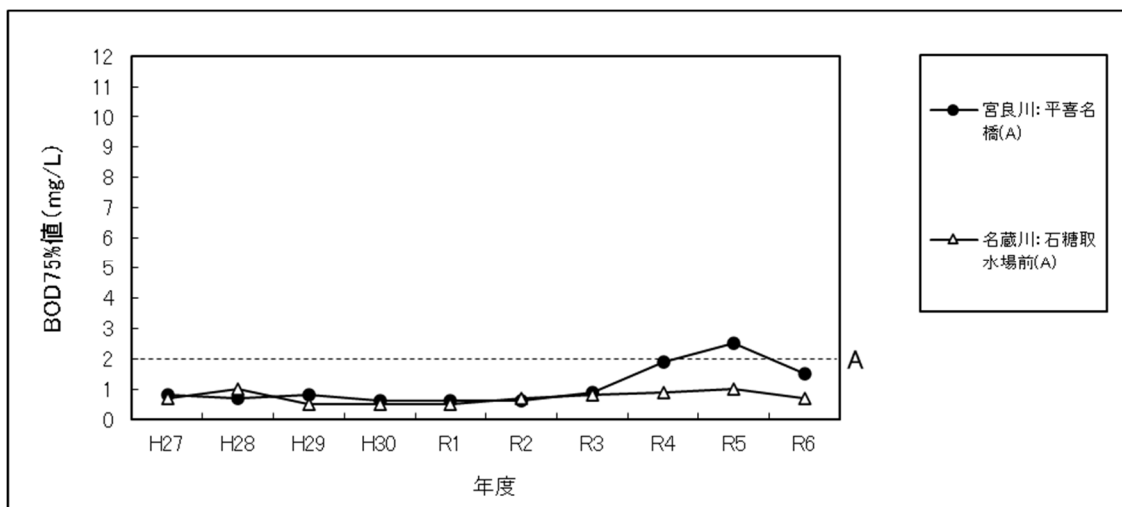


源河川・平南川・大保川の水質 (BOD75%値) 経年変化

シ 宮良川・名蔵川

宮良川は、石垣島の於茂登岳山系に源を發し南下して宮良湾に注ぐ流域面積 47.9km²、指定延長 16.5km (宮良川 12km、底原川 4.5km)の河川で、河口付近にマングローブが繁茂する石垣島最大の河川です。平成元年度に A 類型 (BOD 2mg/L) に指定しています。環境基準点における水質の経年変化は図 12 のとおりで、平成 12 年度以降継続して環境基準を達成していましたが、令和 5 年度は、原因は不明ですが環境基準を達成していません。令和 6 年度は環境基準を達成しています。

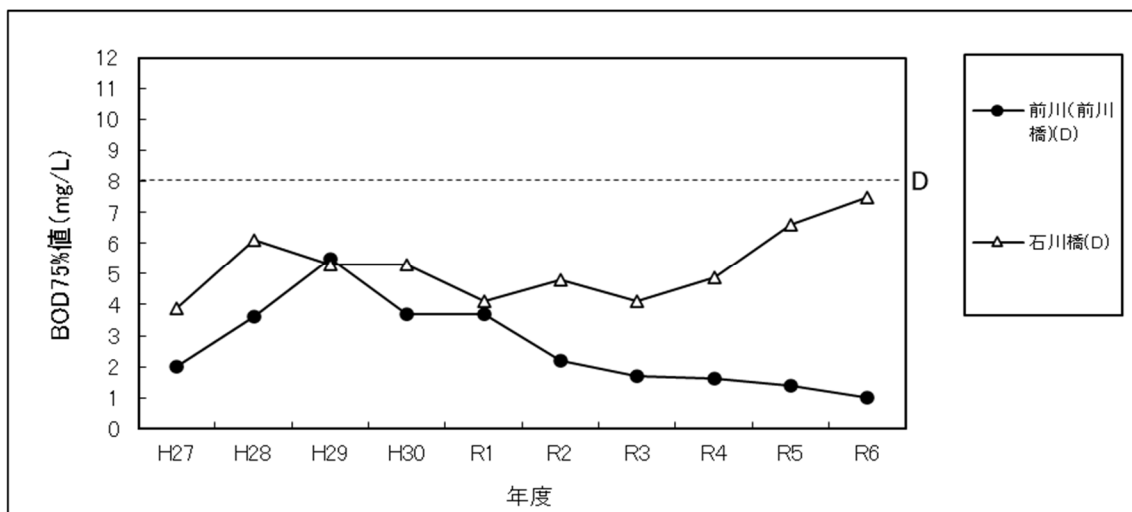
名蔵川は、沖縄島の南西約 400km の東シナ海にある石垣島の西側に位置し、その源を於茂登岳山系に發し、白水川 (普通河川) や於茂登岳を源とするブネラ川 (二級河川) を合わせ、石垣市元名蔵において名蔵湾へ注ぐ、幹川流路延長約 5.3km、流域面積 16.1km²の二級河川です。河口付近は「アンパル」と呼ばれる広大な泥湿地帯となっており、マングローブ林が発達しています。平成元年度に宮良川と同様に A 類型に指定しています。環境基準点における水質の経年変化は平成 12 年度以降、環境基準を達成しています。



宮良川・名蔵川の水質 (BOD75%値) 経年変化

ス 雄樋川

雄樋川は、南城市大里の大城ダムを源に、南城市玉城、八重瀬町を流れ、港川漁港に注ぐ流域面積 13.7km²、指定延長 2.5km の河川で、平成 8 年度に D 類型 (BOD 8 mg/L) に指定しています。前川(前川橋)地点は平成 15 年度以降継続して環境基準を達成しています。また、石川橋地点では平成 19 年度まで多くの年で環境基準を達成していませんでしたが、平成 20 年度以降は達成しています。



雄樋川の水質 (BOD75%値) 経年変化

セ 福地川・漢那川・羽地大川・新川川・安波川・普久川・辺野喜川

福地川、漢那川、羽地大川、新川川、安波川、普久川及び辺野喜川は、沖縄島北部に位置し、上流は国管理ダム湖で、県民の水甕となっています。

福地川：太平洋に注ぐ流域面積 52.1km²、指定延長 25.1km の河川で昭和 49 年度に A 類型に指定。

漢那川：太平洋に注ぐ流域面積 9 km²、指定延長 3.5km の河川で昭和 50 年度に企業局取水場跡地から上流を A 類型に指定。

羽地大川：羽地内海に注ぐ流域面積 32.8km²、指定延長 15.3km の河川で、昭和 50 年度に A 類型に指定。

新川川：太平洋に注ぐ流域面積 11.3km²、指定延長 6.2km の河川で昭和 52 年度に A 類型に指定。

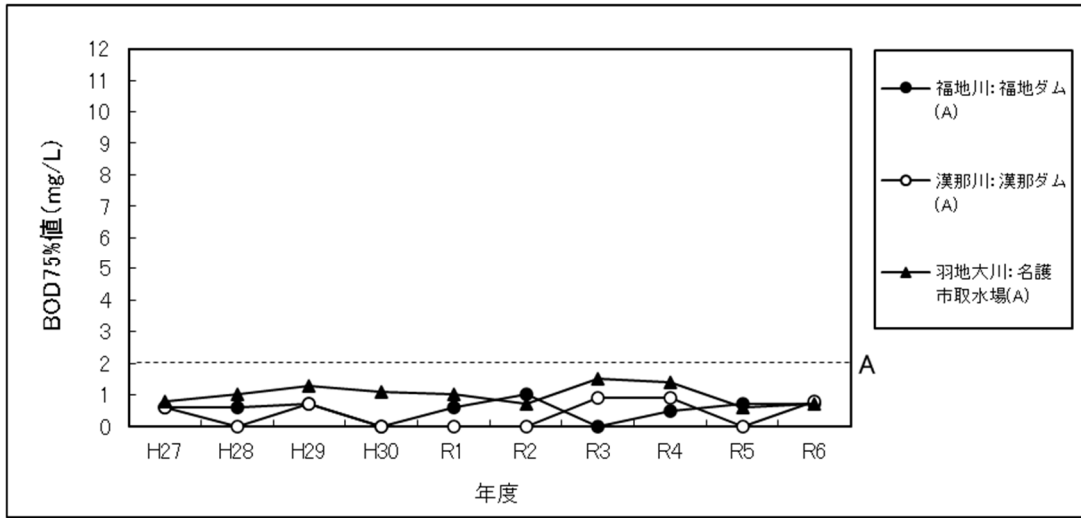
普久川：太平洋に注ぐ流域面積 17km²、指定延長 7 km の河川で昭和 52 年度に上流を A 類型、下流を B 類型に指定。平成 15 年度に下流を A 類型に見直し。

安波川：太平洋に注ぐ流域面積 49km² (普久川を除く)、指定延長 10.8km (同左) で昭和 52 年度に上流を A 類型、下流を B 類型に指定。平成 15 年度に下流を A 類型に見直し。

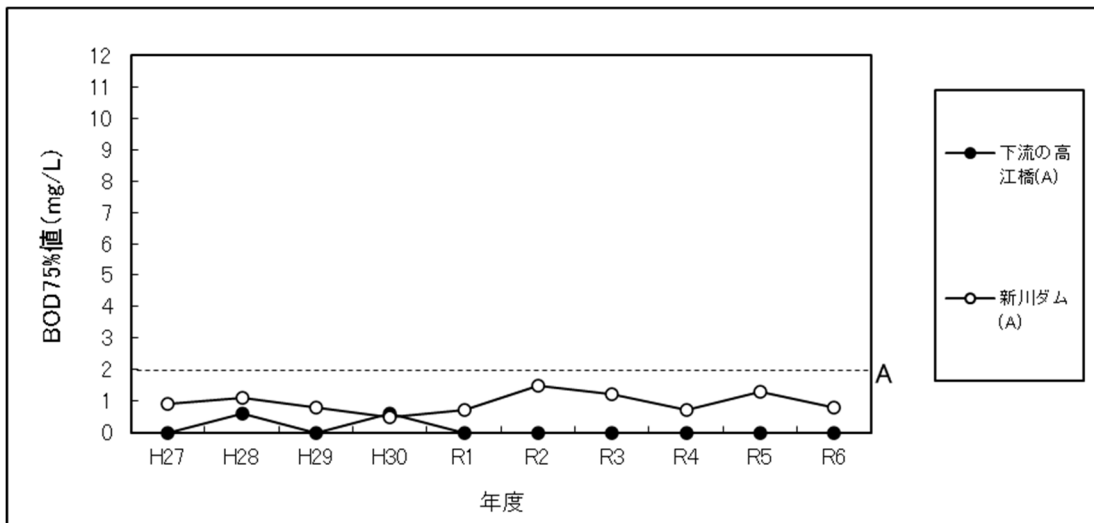
辺野喜川：東シナ海に注ぐ流域面積 13.2km²、指定延長 8 km の河川で、昭和 57 年度に A 類型に指定。

3 水質関係

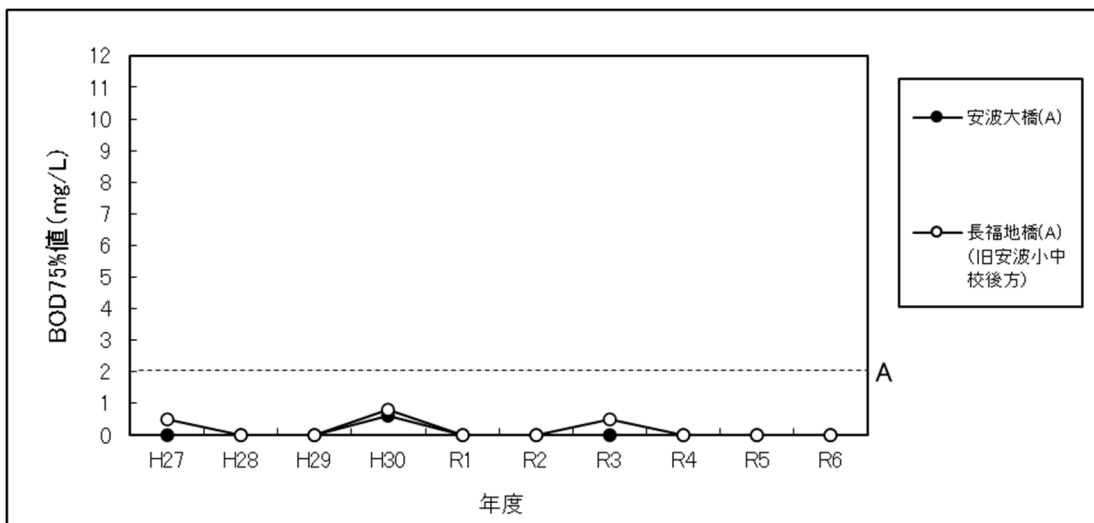
環境基準点における水質の経年変化は、下図のとおりで、ここ10年では全ての地点で継続して環境基準を達成しています。



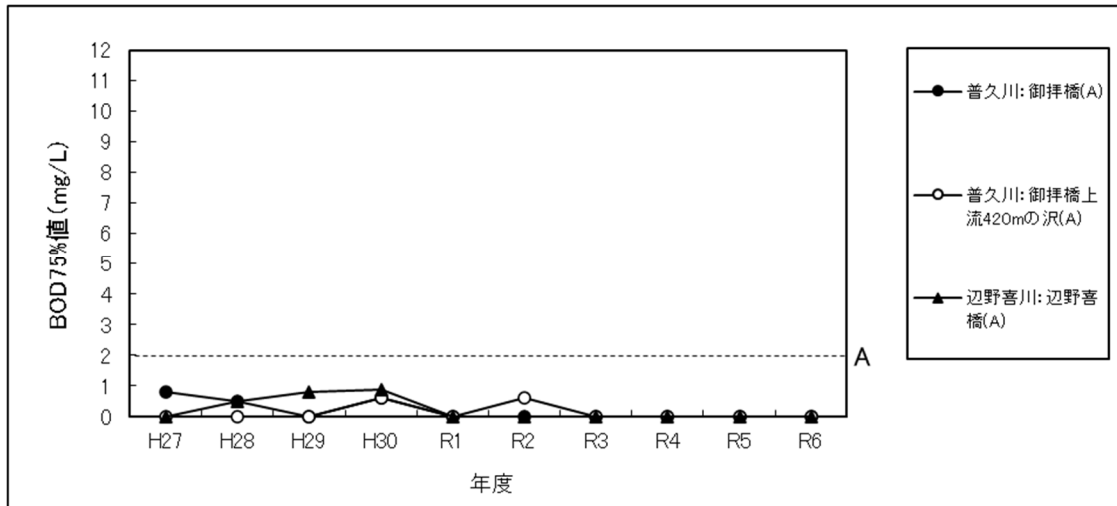
福地川・漢那川・羽地大川の水質 (BOD75%値) 経年変化



新川川の水質 (BOD75%値) 経年変化



安波川の水質 (BOD75%値) 経年変化

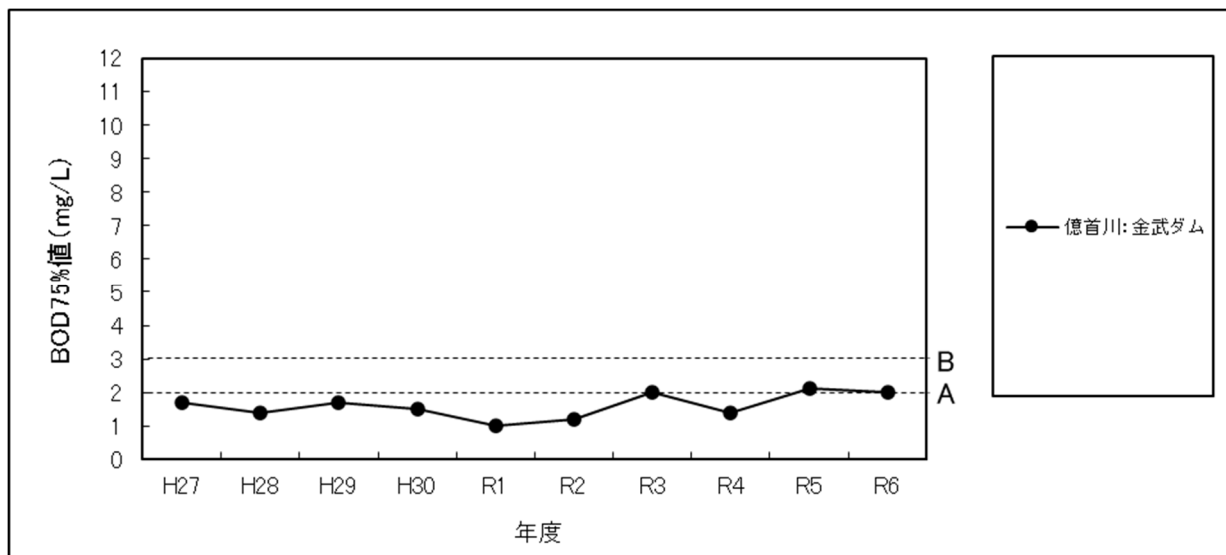


普久川、辺野喜川の水質 (BOD75%値) 経年変化

ソ 億首川

億首川は、沖縄島中央部の国頭郡金武町及び恩納村に位置し、その源を恩納村山中に発し、^き瀬武原^{せんぼる} 盆地を南に貫流して、幸地川等の支川と金武ダム貯水池で合流し、金武町において太平洋に注ぐ流路延長 8.0km、流域面積 16.4km² の二級河川です。

平成 25 年度に金武ダムが完成したことを受けて、平成 26 年度より水質の状況を確認しているところですが、令和 6 年度末時点で類型の指定はまだされていません。なお、平成 26 年度から令和 4 年度の結果では A 類型の基準を達成していましたが、令和 5 年度は、A 類型の基準は達成していません。令和 6 年度は A 類型の環境基準を達成しています。



億首川の水質 (BOD75%値) 経年変化

3 水質関係

(5) 健康項目測定地点数（海域）

番号	海 域 名	調査地点数
1	中 城 湾	1
2	与 勝 海 域	1
3	金 武 湾	1
4	那 覇 港 海 域	1
5	名 護 湾	1
6	平 良 港	1
7	与 那 覇 湾	1

番号	海 域 名	調査地点数
8	石 垣 港	1
9	川 平 湾	1
10	羽 地 内 海	2
11	糸 満 海 域	1
12	恩 納 海 域	1
13	伊 佐 海 域	1
合 計		14

(6) 健康項目測定結果（海域）

測 定 項 目	調 査 地点数	環 境 基 準 超過地点数
カドミウム	14	0
全 シ ア ン	14	0
鉛	14	0
六 価 ク ロ ム	14	0
砒 素	14	0
総 水 銀	14	0
アルキル水銀	14	0
P C B	14	0
ジクロロメタン	14	0
四 塩 化 炭 素	14	0
1, 2-ジクロロエタン	14	0
1, 1-ジクロロエチレン	14	0
トリス(1, 2-ジクロロエチル)	14	0

測 定 項 目	調 査 地点数	環 境 基 準 超過地点数
1, 1, 1-トリクロロエタン	14	0
1, 1, 2-トリクロロエタン	14	0
トリクロロエチレン	14	0
テトラクロロエチレン	14	0
1, 3-ジクロロプロパン	14	0
チ ウ ラ ム	14	0
シ マ ジ ン	14	0
チオベンカルブ	14	0
ベ ン ゼ ン	14	0
セ レ ン	14	0
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	14	0
1, 4-ジオキサン	14	0
合計	350	0

(7) 海域水質の環境基準達成状況 (COD75%値)

海域 No.	水域 No.	環境基準 類型指定 水域名	類 型	基 準 値	環 境 基 準 点										
						H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
1	1	中城湾	A	2	当添海岸	1.4	1.4	1.5	0.9	0.9	2.6	1.8	0.8	0.8	1.4
					湾内2	1.2	1.7	2.0	1.7	1.7	2.8	2.0	1.0	1.0	1.2
					湾内3	1.2	1.1	1.5	1.2	0.9	2.4	1.9	1.3	0.9	1.2
2	2	与勝海域	A	2	埋立地西海域	0.7	0.7	1.6	1.6	0.9	1.2	1.1	1.4	1.8	1.6
3	3	金武湾	A	2	天願川河口地先	1.1	0.8	2.2	1.4	1.2	1.6	1.4	2.4	2.6	1.3
					石川ビーチ沖	0.8	1.5	1.6	1.4	1.1	1.0	1.4	1.8	1.6	1.4
					湾口中央	1.1	0.6	1.8	1.4	1.1	0.9	2.0	0.8	2.0	1.4
4	4	那覇港海域	A	2	那覇港沖	1.9	1.9	1.9	1.8	1.5	1.4	1.4	1.8	0.9	1.2
					那覇港内	2.2	2.2	2.6	2.7	1.9	2.3	1.8	2.3	1.5	2.1
					那覇新港入口	1.9	1.9	1.9	1.8	1.5	1.6	1.3	1.6	1.0	1.2
					泊港内	2.2	2.2	2.2	1.8	1.6	1.8	1.9	1.8	1.3	1.6
					自謝加瀬東	2.1	2.1	1.7	1.9	1.5	1.4	1.4	1.6	1.3	0.9
5	5	名護湾	A	2	名護海岸	1.8	1.8	1.7	1.7	1.4	1.8	1.8	1.6	1.1	1.3
					湾内	1.8	1.7	1.7	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	0.7	0.9
					部間海岸	1.8	1.9	1.7	1.6	1.3	1.3	1.1	1.3	0.8	0.9
6	6	平良港	A	2	第3埠頭北岸から北300m	1.5	0.9	0.7	1.5	0.6	0.9	1.8	2.5	1.5	1.9
7	7	石垣港	A	2	浜崎地区南埠頭埋立予定地から西へ300m	1.2	1.1	<0.5	<0.5	<0.5	1.6	1.1	1.7	0.7	1.0
8	8	川平湾	A	2	小島南先端と双葉地先を結ぶ線上の中心点	1.1	1.1	0.5	<0.5	<0.5	1.1	1.3	0.8	0.9	1.2
9	9	羽地内海(1)	B	3	仲尾次漁港西埠頭から北西100m	1.8	1.8	1.8	1.5	1.5	1.9	1.5	1.6	1.1	1.4
					呉我船揚場から北へ400m	1.8	1.8	1.7	1.7	1.5	2.0	1.7	1.5	1.0	1.4
	10	羽地内海(2)	A	2	羽地内海中央	1.8	1.8	1.8	1.6	1.5	1.9	1.7	1.8	0.9	1.5
					内海北水路南端	1.8	1.8	1.7	1.5	1.4	1.7	1.7	1.6	0.9	1.3
10	11	糸満海域	A	2	糸満漁港	1.9	1.9	1.9	1.7	1.3	1.5	1.7	1.9	1.1	1.7
					糸満漁港沖	1.8	1.8	1.9	1.4	1.1	1.4	1.5	1.5	0.9	1.2
					岡波岩東	1.9	1.9	1.7	1.5	1.1	1.4	1.5	1.4	0.9	1.3
11	12	恩納海域	A	2	伊武部海岸地先	1.7	1.7	1.8	1.4	1.3	1.4	1.3	1.5	0.9	1.1
					恩納漁港地先	1.6	1.6	1.8	1.5	1.1	1.4	1.0	1.3	0.8	1.0
					富着海岸地先	1.9	1.9	1.9	1.5	1.1	1.4	1.2	1.4	1.0	1.0
					長浜海岸地先	1.9	1.9	1.8	1.2	1.1	1.4	1.0	1.4	0.9	1.0
環境基準未達成水域数						1	1	2	1	0	2	0	3	1	1
環境基準類型指定水域数						12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
達成率%(環境基準達成水域数/指定水域数×100)						92	92	83	92	100	83	100	75	92	92

※太字かつ網掛けの地点は、環境基準未達成の地点です。

3 水質関係

(8) 与那覇湾・伊佐海域の水質の経年変化 (COD75%値)

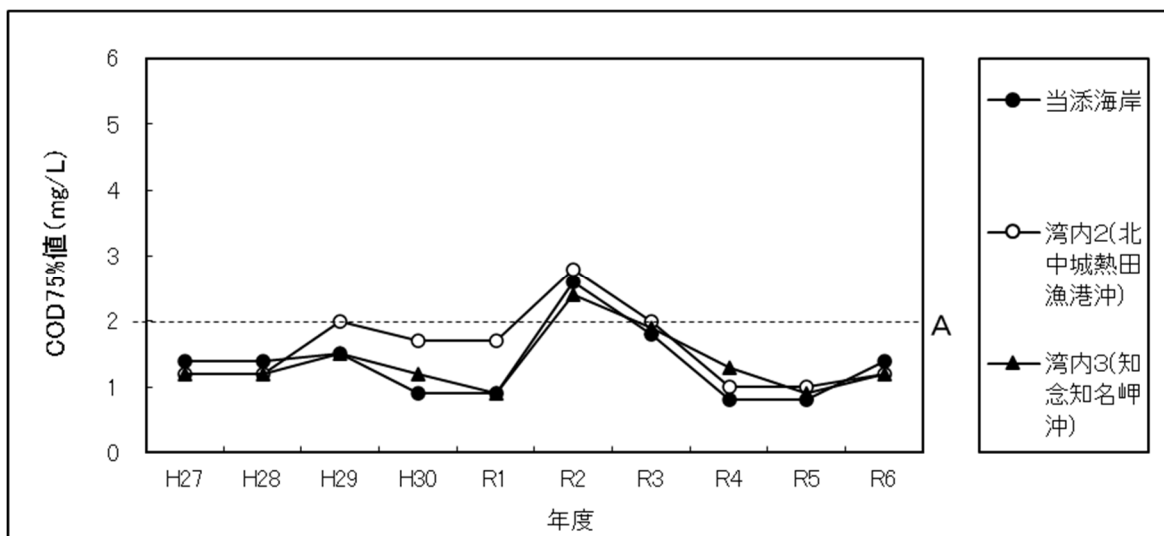
海域No.	水域No.	環境基準 類型指定 水域名	類 型	基 準 値	測定地点	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
						12	13	与那覇湾	-	-	松原地先	2.5	1.2	0.7	1.2
					沖縄製糖旧さん橋北端	2.7	2.9	1.3	4.8	2.4	2.6	2.2	2.9	1.8	3.2
					与那覇地先	2.4	1.7	1.2	2.0	1.0	1.2	1.6	1.2	1.0	3.9
13	14	伊佐海域	-	-	残波岬南	1.8	1.9	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0			
					比謝川河口北	1.7	1.9	1.6	1.5	1.4	1.3	1.1			
					比謝川河口南	1.5	1.9	1.6	1.6	1.3	1.3	1.2			
					水釜地先	1.4	1.9	1.6	1.4	1.2	1.3	1.1			
					砂辺地先	1.6	1.9	1.8	1.7	1.2	1.4	1.0			
					白比川地先	1.7	1.8	1.7	1.6	1.3	1.2	1.0			
					大山地先	1.7	1.9	1.7	1.5	1.3	1.3	0.9	1.4	1.0	1.0
					沖電地先	1.6	1.9	1.7	1.5	1.3	1.4	1.2	1.3	0.7	0.9
					港川地先	1.5	1.6	1.8	1.5	0.9	1.3	1.2	1.2	0.9	1.1
					キャンピング-地先	1.8	1.8	1.8	1.5	1.1	1.3	1.4	1.5	0.8	0.9

(9) 各海域の概況及び水質

ア 中城湾

中城湾は、沖縄島中南部の東海岸に位置し、勝連半島、津堅島、久高島及び知念半島に囲まれた面積約240km²の水域で、昭和49年4月には、重要港湾に指定されています。

昭和49年度に環境基準のA類型 (COD 2mg/L) に指定しており、環境基準点における水質の経年変化は平成20年度以降各地点とも環境基準を達成していましたが、令和2年度に3地点で環境基準を達成できませんでした。令和3年度以降は、3地点とも基準を達成しています。



中城湾の水質 (COD75%値) 経年変化

イ 与勝海域

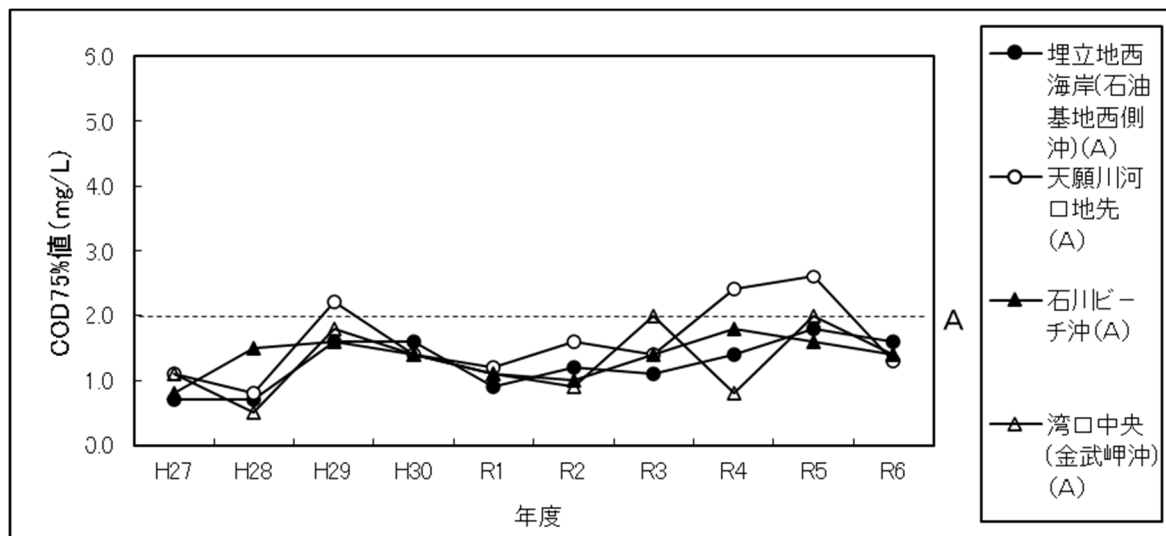
与勝海域は、沖縄島中部東側に位置し、平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島及び勝連半島周辺の面積約 66km²の金武湾に接した水域で、陸域には、石油貯蔵基地が立地しています。

昭和 49 年度に環境基準の A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は各地点とも良好な状態を維持し、指定以来継続して環境基準を達成しています。

ウ 金武湾

金武湾は、金武岬と勝連半島に囲まれた面積約 150km²の水域で、湾口は狭く湾奥に向かって入江を形成しており、湾口から湾中央にかけては水深が深いことから、周辺石油及び電力企業への原油等の運搬のために大型タンカー船が航行します。また、同湾は勝連半島と平安座島間の海中道路、平安座島、宮城島及び伊計島で外海と隔てられており、海水の交換は、もっぱら湾口に頼っています。

昭和 49 年度に環境基準の A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は各地点とも良好な状態を維持しており、平成 5 年度より継続して環境基準を達成していましたが、平成 29 年度、令和 4 年度及び令和 5 年度に原因は不明ですが天願川河口地先で環境基準を達成していません。令和 6 年度は環境基準を達成しています。



与勝海域、金武湾の水質 (COD75%値) 経年変化

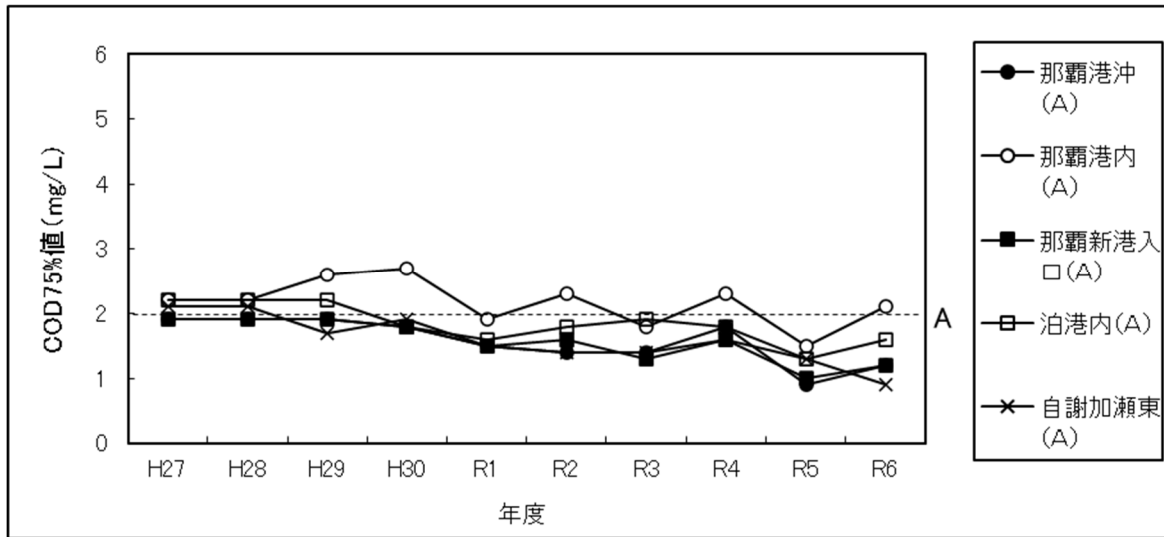
エ 那覇港海域

那覇港海域は、那覇新港埠頭の伊奈武瀬^{いなんせ}から沖合いの自謝加瀬^{じじゃかせ}、干ノ瀬^{かんびせ}のサンゴ礁を経て那覇空港北岸に囲まれる面積約 11km²の水域で、那覇港、泊港及び那覇新港が立地しており、背後には、那覇市街地が広がっています。

昭和 50 年度に環境基準の A 類型に指定しています。最近 10 年間において、那覇港内は平成 26 年度以降令和元年度、3 年度及び 5 年度を除いて環境基準未達成となっています。泊港内で

3 水質関係

は平成 19～29 年度、自謝加瀬東では平成 19 年度、27 年度及び 28 年度を除く年度で環境基準を達成しました。那覇港沖と那覇新港入口では最近 10 年における基準超過はありません。

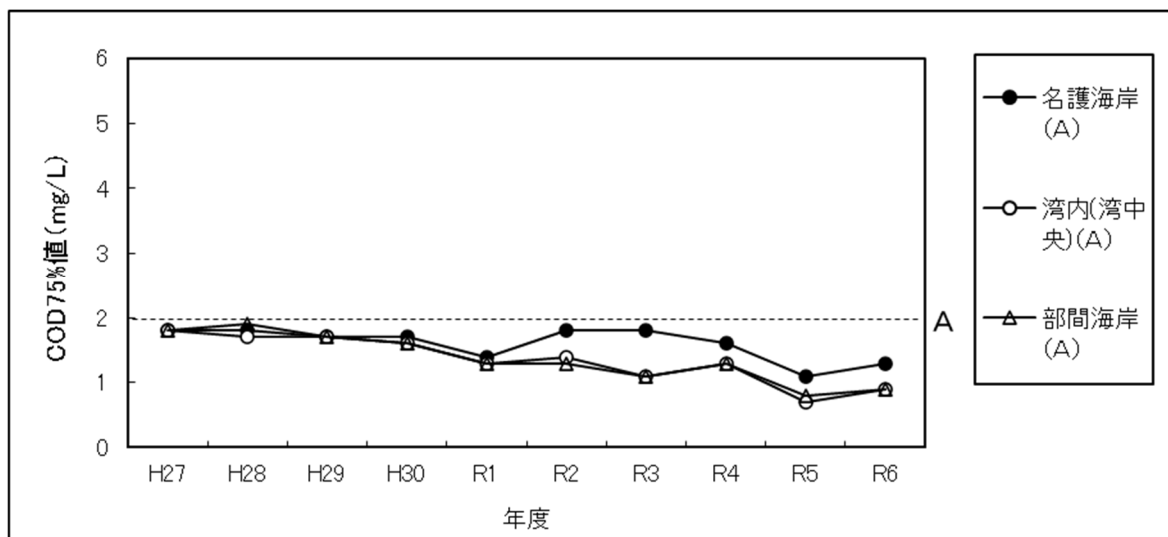


那覇港海域の水質 (COD75%値) 経年変化

オ 名護湾

名護湾は、沖縄島北部西海岸に位置し、部瀬名岬と本部半島を結ぶ海岸線に囲まれた面積約 47.6km²の水域で湾奥には名護市の市街地域が広がっています。また、名護市世富慶以南は昭和 47 年に沖縄海岸国定公園に指定されています。

昭和 50 年度に環境基準の A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は各地点とも良好に推移し、昭和 54 年度以降継続して環境基準を達成しています。

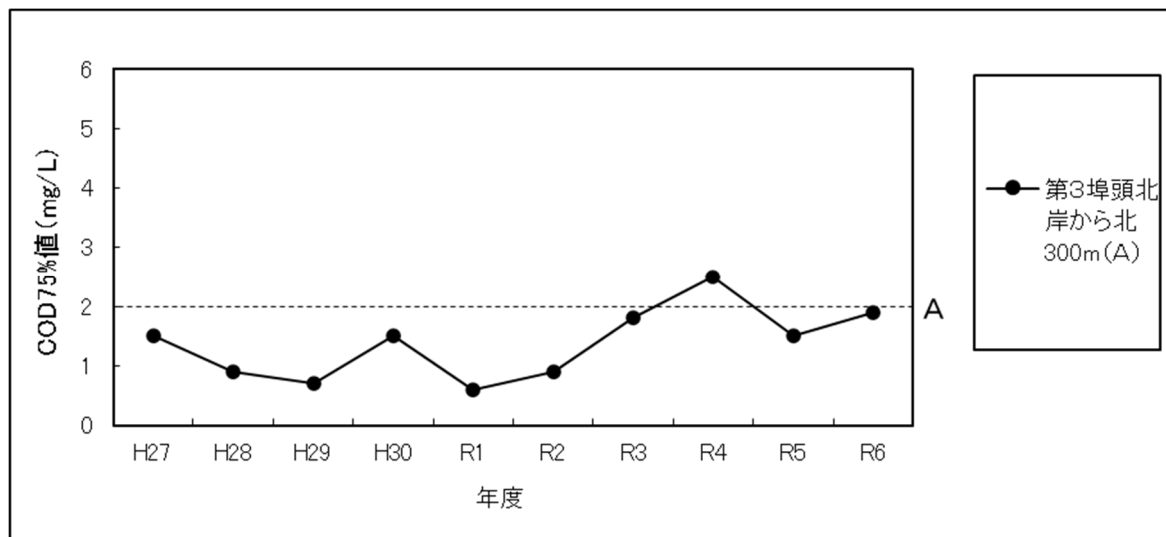


名護湾の水質 (COD75%値) 経年変化

カ ひらら
平良港

平良港は、宮古島西方に位置し、宮古島市の市街地に面しています。

昭和 52 年度に環境基準の A 類型に指定しており、環境基準点における水質の経年変化は良好に推移し、継続して環境基準を達成していましたが、令和 4 年度に、原因は不明ですが環境基準を達成していませんでした。令和 6 年度は環境基準を達成しています。



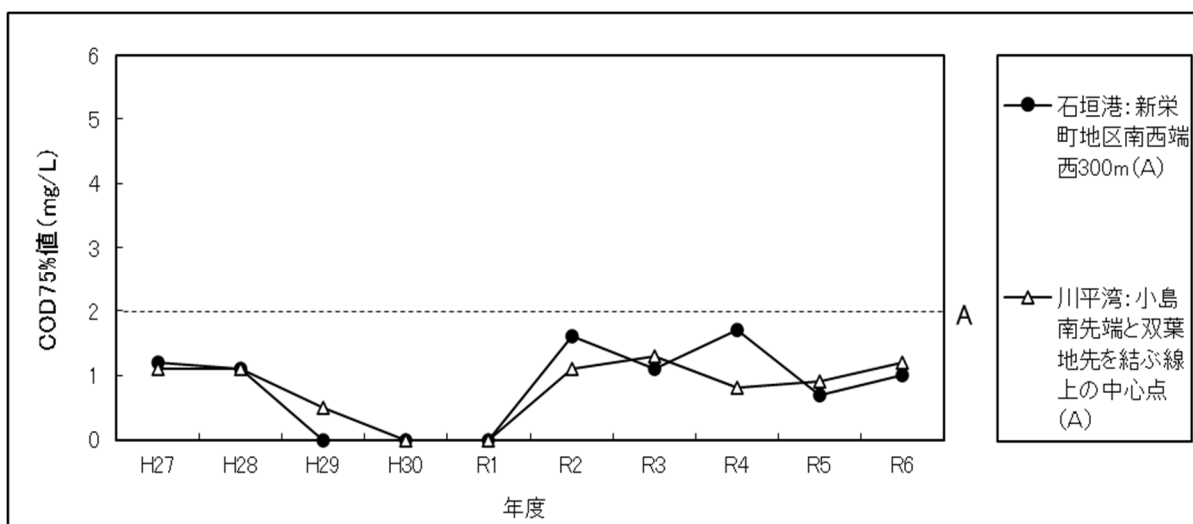
平良港の水質 (COD75%値) 経年変化

キ 石垣港、川平湾

石垣港は、石垣島南部に位置し、面積約 19km² の海域で石垣市街地に面し、八重山地域の流通港としての中核をなしています。昭和 52 年度に環境基準の A 類型に指定しています。

川平湾は、石垣島北西に位置する風光明媚な入江で、昭和 49 年度に水産資源保護法に基づく水産動物の繁殖、保護、培養のために必要な措置を講ずるべき保護水面として指定されており、昭和 52 年度に環境基準の A 類型に指定しています。また、平成 19 年に西表国立公園が拡張され西表石垣国立公園となった際に、国立公園の区域に編入されています。

両海域の環境基準点における水質は良好に推移し、直近 10 年間は環境基準を達成しています。



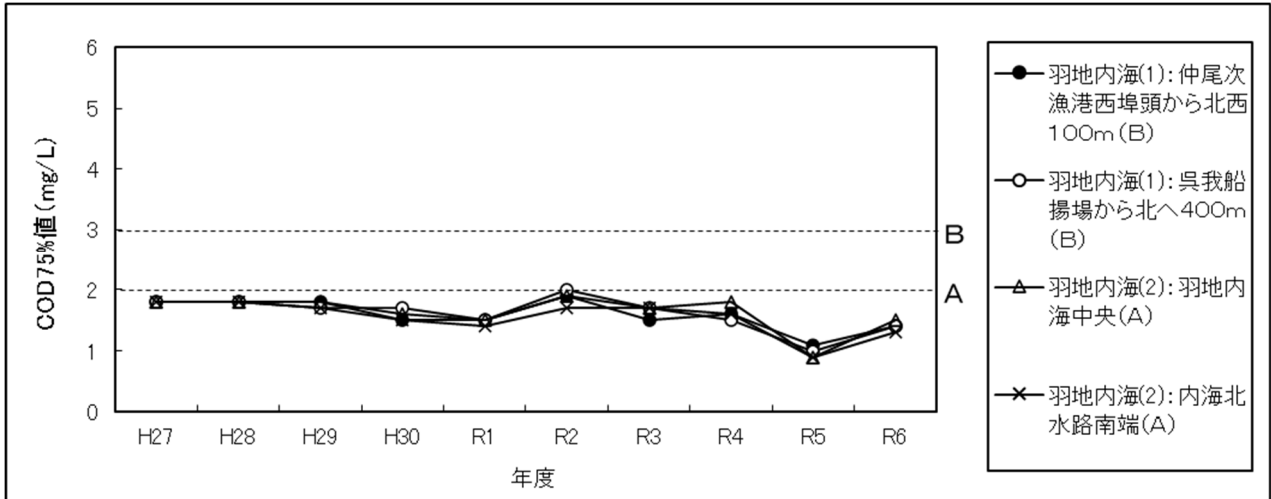
石垣港、川平湾の水質 (COD75%値) 経年変化

3 水質関係

ク 羽地内海

羽地内海は、沖縄島北部海岸に位置し、本部半島及び屋我地島に囲まれた面積約 12km²の風光明媚な内海で、沖縄海岸国定公園及び国設鳥獣保護区に指定されています。

環境基準を昭和 57 年度に湾奥部の羽地内海、我部祖河川の河口域を B 類型 (COD 3mg/L) に指定し、その他の海域部を A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は、各地点とも良好に推移しており、昭和 63 年度より継続して環境基準を達成しています。

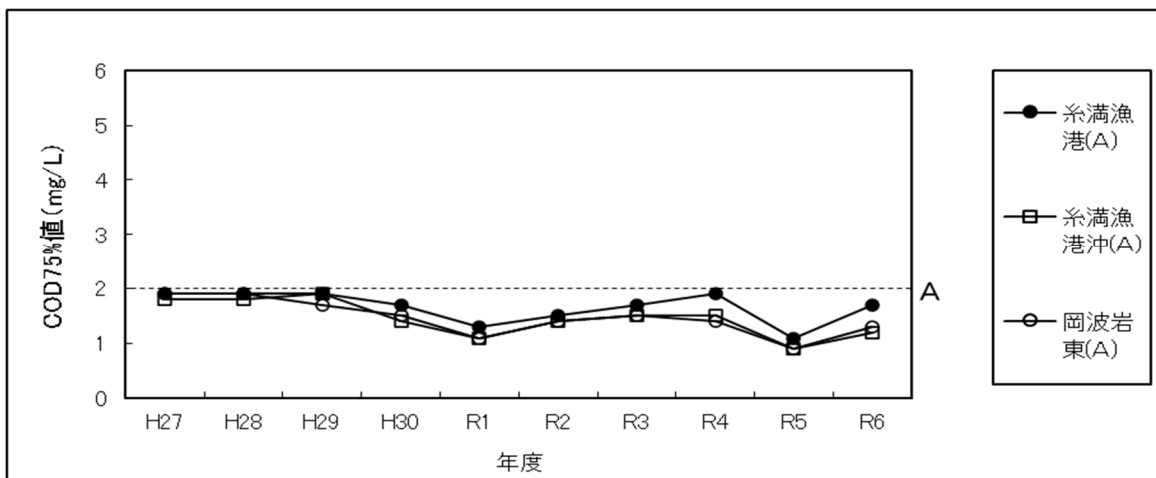


羽地内海(1)及び(2)の水質 (COD75%値) 経年変化

ケ 糸満海域

糸満海域は、沖縄島南部海岸に位置した海域で、糸満市糸満から潮平にかけての西側約 274 km²を埋立て、糸満臨海工業団地、中小企業団地、沖合側の漁港後背地には水産食品加工団地が建設されているほか、埋め立て地北側は新興住宅地となっています。

昭和 60 年度に環境基準の A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は各地点とも良好に推移しており、指定以来、継続して環境基準を達成しています。

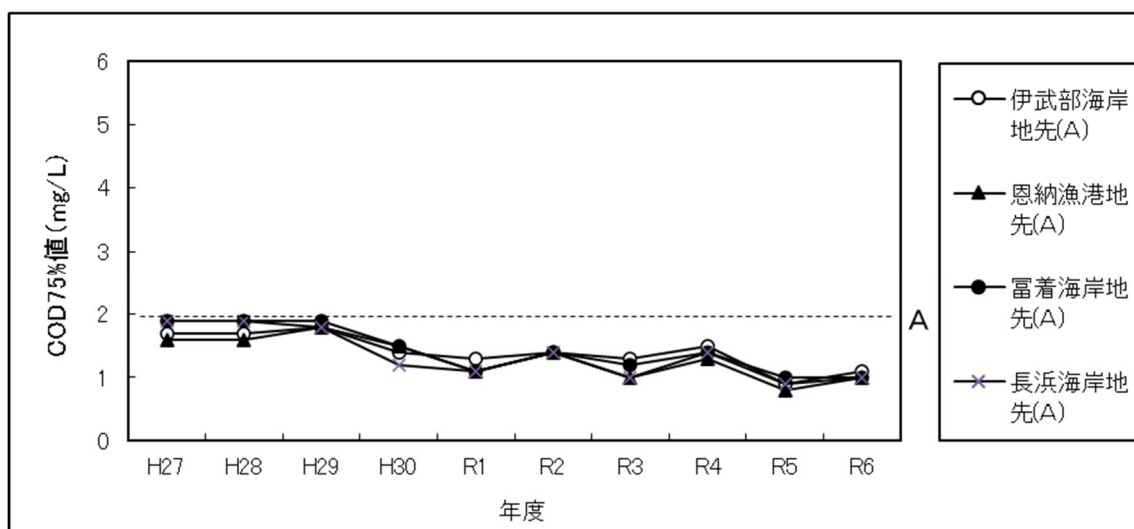


糸満海域の水質 (COD75%値) 経年変化

コ 恩納海域

恩納海域は、沖縄島北部西海岸に位置し、30 数キロに及ぶ風光明媚な海岸線は、白い砂浜とエメラルド色に輝く海、切り立った海蝕崖など変化に富み、昭和 47 年に沖縄海岸国定公園に指定されています。また、一帯は沖縄を代表する観光・リゾート地として賑わっており、大型リゾートホテル等の関連施設が数多く立地しています。

平成 6 年度に環境基準の A 類型に指定していますが、環境基準点における水質の経年変化は各地点とも良好に推移し、指定以来、継続して環境基準を達成しています。



恩納海域の水質 (COD75%値) 経年変化

サ 与那覇湾、伊佐海域

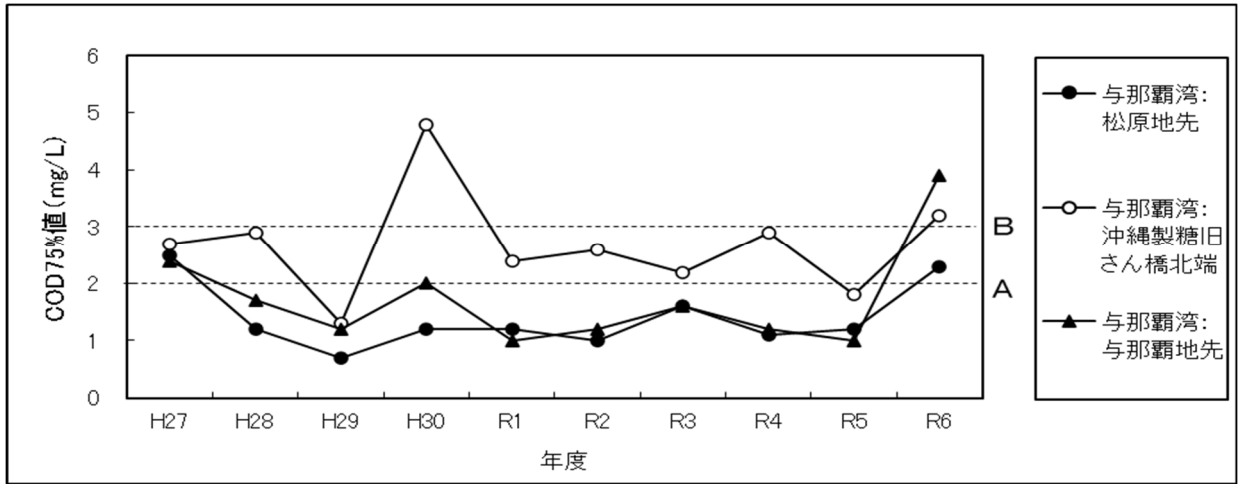
閉鎖性海域である宮古島の与那覇湾及び、沖縄島中部西海岸の伊佐海域は、水質環境基準の類型指定を行っていませんが、水質の状況を把握するために昭和 55 年度より与那覇湾 3 地点、平成 7 年度より伊佐海域 10 地点で水質測定を実施しています。

与那覇湾においては、年度により COD 値が 3 mg/L を超えることがありますので、B 類型として評価しても基準を達成できない可能性があります。

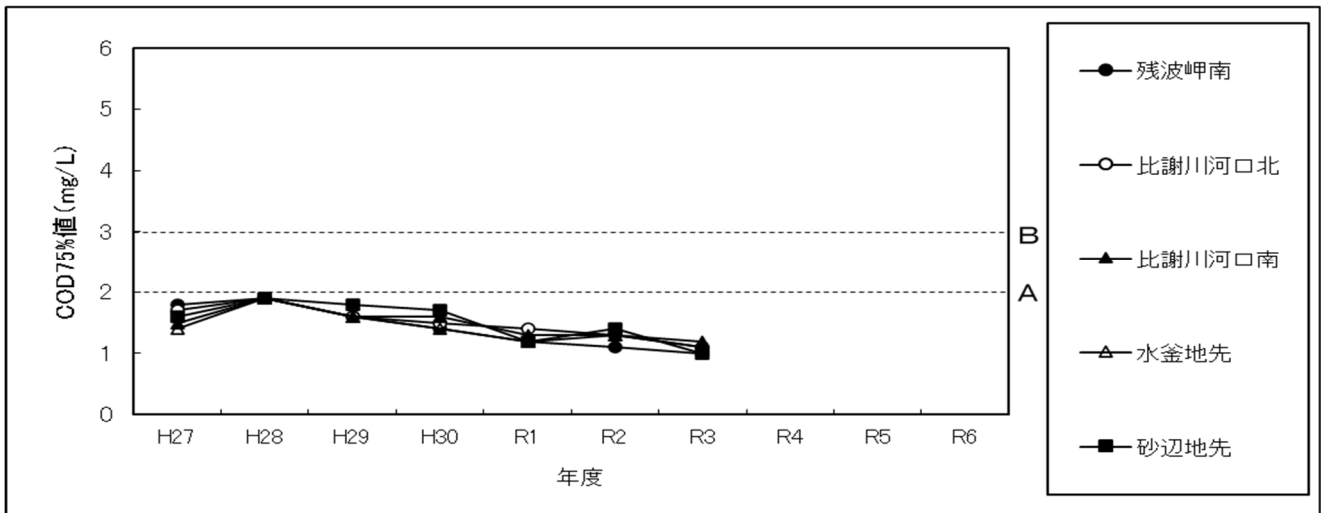
伊佐海域においては、水質の経年変化は良好に推移し、測定以来継続して COD 値 2 mg/L 以下となっており、A 類型として評価しても基準を達成できる良好な結果となっています。

なお、伊佐海域の残波岬南、比謝川河口北、比謝川河口南、水釜地先、砂辺地先、白比川地先は過去の測定により水質の安定が確認されていることから、水質測定の効率化のため令和 4 年度以降は水質測定を実施していません。

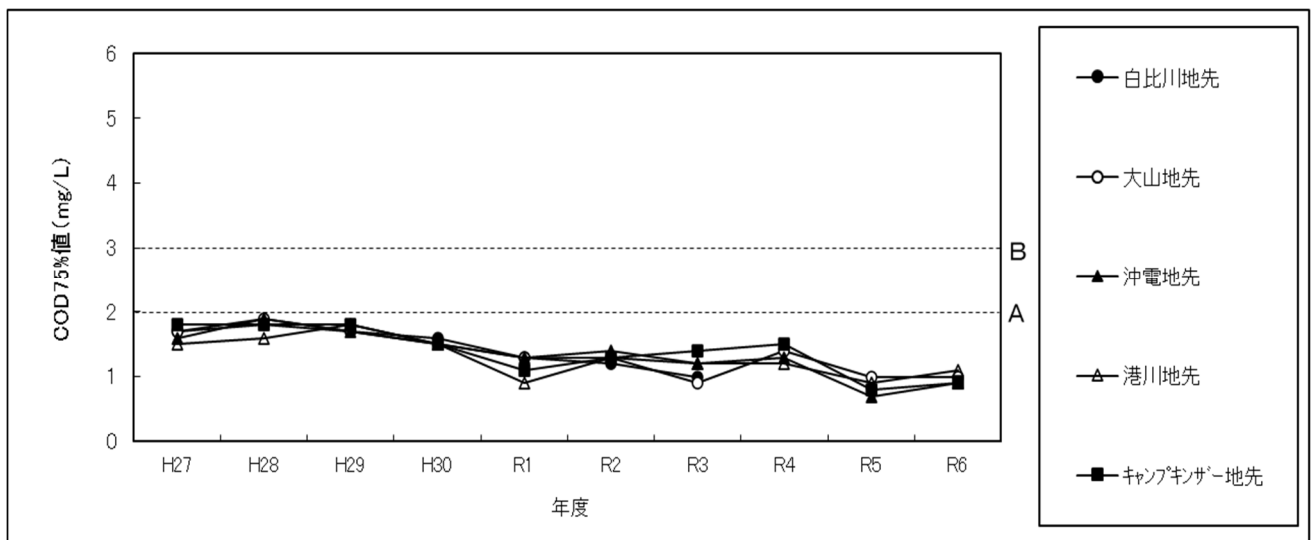
3 水質関係



与那覇湾の水質 (COD 値) 経年変化



伊佐海域の水質 (COD 値) 経年変化



伊佐海域の水質 (COD 値) 経年変化

(10) 令和6年度 主要水浴場水質調査結果

No.	水浴場名	遊泳期間前										遊泳期間中										判定		
		調査 月日	ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)		油膜	判定	調査 月日	ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)			油膜	
			最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大				最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大			最小
1	奥間ビーチ	4/11,4/25	<2	<0.5	1.7	1.0	8.0	8.1	全透	全透	なし	水質AA	7/17,7/31	<2	1.1	5.6	3.5	6.9	7.5	全透	全透	なし	水質B	
5	ブセナビーチ	4/11,4/25	<2	<0.5	1.2	0.7	7.9	8.1	全透	全透	なし	水質AA	7/17,7/31	<2	2.1	3.6	2.9	7.4	7.7	全透	全透	なし	水質B	
14	伊計ビーチ	4/22,5/8	<2	0.5	1.4	1.2	7.4	7.8	全透	全透	なし	水質AA	7/9,7/10	<2	1.0	2.2	1.5	7.7	7.9	全透	全透	なし	水質A	
15	読谷村堂後波ビーチ	4/17,5/8	<2	0.5	1.8	1.0	7.5	7.8	全透	全透	なし	水質AA	7/9,8/27	<2	<0.50	2.4	1.5	7.8	7.9	全透	全透	なし	水質A	
16	ニライビーチ	4/17,5/8	<2	0.7	0.8	0.8	7.6	7.9	全透	全透	なし	水質A	7/9,7/10	<2	<0.50	2.8	1.7	7.6	7.7	全透	全透	なし	水質AA	
17	宜野湾トロピカルビーチ	4/17,5/8	<2	0.6	1.2	1.0	7.6	7.8	全透	全透	なし	水質AA	7/9,8/27	<2	<0.50	1.6	1.0	7.9	8.1	全透	全透	なし	水質A	
18	サンセットビーチ	4/17,5/8	<2	0.8	1.1	1.0	7.6	7.9	全透	全透	なし	水質A	7/9,8/27	<2	1.4	5	<0.50	1.6	7.7	8.1	全透	全透	なし	水質A
19	波の上ビーチ	4/22,4/3	<2	1.0	1.1	1.0	8.2	8.2	>1	>1	なし	水質A	7/16,7/17	<2	1.3	1.7	1.5	8.2	8.2	>1	>1	なし	水質AA	
23	前浜ビーチ	4/17,5/9	<2	<0.5	1.3	0.8	7.9	8.0	全透	全透	なし	水質A	7/8,8/1	<2	0.5	1.2	1	7.7	8	全透	全透	なし	水質AA	
26	底地海水浴場	4/11,5/7	<2	<0.5	1.4	1.1	8.1	8.4	>1	>1	なし	水質A	7/11,8/5	<2	0.6	1.2	0.9	8	8.4	>1	>1	なし	水質A	
28	あざまサンサンビーチ	4/17,4/18	<2	0.8	1.0	0.9	8.1	8.2	全透	全透	なし	水質AA	7/10,7/11	5	<0.5	1.6	0.8	8	8	全透	全透	なし	水質A	
29	アラハビーチ	4/17,5/8	<2	0.8	1.0	1.0	7.7	7.9	全透	全透	なし	水質A	7/9,8/27	<2	4	1.0	2.0	1.5	7	8.1	全透	全透	なし	水質A
30	吉野海岸	4/17,5/9	<2	<0.5	3.1	1.3	7.9	8.1	全透	全透	なし	水質AA	7/8,8/1	<2	1	1.8	1.2	7.8	8	全透	全透	なし	水質AA	
32	古座間味ビーチ	4/23,4/24	<2	0.8	1.0	0.9	8.1	8.2	全透	全透	なし	水質AA	8/5,8/6	<2	<0.5	<0.5	<0.5	8	8	全透	全透	なし	水質AA	
33	美々ビーチ	4/17,4/18	<2	1.0	1.2	1.2	8.1	8.2	全透	全透	なし	水質A	7/10,7/11	<2	0.8	1.2	1.0	8	8.1	全透	全透	なし	水質A	
35	西原きらきらビーチ	4/17,4/18	<2	0.8	1.2	1.0	8.2	8.2	全透	全透	なし	水質A	7/10,7/11	<2	30	1.6	1.2	8	8	全透	全透	なし	水質A	
38	宇堅ビーチ	4/22,5/8	<2	0.7	1.4	1.1	7.5	7.8	全透	全透	なし	水質A	7/9,7/10	<2	<0.50	3.4	1.2	7.5	7.8	全透	全透	なし	水質AA	
39	フサギビーチ	4/17,5/7	<2	<0.5	0.8	0.6	8.0	8.2	>1	>1	なし	水質AA	8/5,7/11	<2	<0.5	0.8	0.6	8	8.2	>1	>1	なし	水質AA	
40	コンドイビーチ	5/9,5/14	<2	<0.5	1.0	0.7	8.2	8.3	>1	>1	なし	水質AA	7/16,7/31	<2	0.8	1.6	1.2	8	8.4	>1	>1	なし	水質AA	

3 水質関係

(1) 令和6年度に発生した魚類のへい死事故

No	通報年月日	発生地点			へい死魚種数		備考		
		水域名	市町村名	管轄	魚種	魚数(匹)	死因	衛研や保健所の調査概要	衛研検査
1	R7/02/14	新川川	石垣市	八重山	テトラピア	20-30匹	不明	令和7年2月14日に採取した水試料からは、農薬等の物質は検出されなかった。八重山保健所が実施した水質調査の結果、へい死魚発生時(令和7年2月14日)の検水と令和7年3月11日に実施した追加調査(平常時)の検水を比較した結果、平常時の方が溶存酸素濃度(DO)が低く、アンモニア性窒素濃度(NH4+)が高いことが確認され、死魚発生時において、著しい水質悪化は見られなかった。また、へい死魚の発生が寒波の到来後であったこと、更に、へい死したテトラピアは、pH等の水質の変化に対する耐性は強いが、寒さに弱いという性質を持つことから、直接的な死因の特定には至らなかったものの、凍死による可能性が推測された。	○

(12) 県内の公共用水域で発生した魚類へい死事故の原因(過去5年分)

年度	発生数	発生原因及び発生数				
		急性中毒	急性中毒原因物質	呼吸障害	その他	不明
令和2年度	7	0	-	0	0	7
令和3年度	4	1	・アンモニア毒性	0	0	3
令和4年度	4	2	・アンモニア毒性 ・消毒薬パコマ	0	0	2
令和5年度	2	0	-	0	0	2
令和6年度	1	0	-	0	0	1
計	18		4	0	0	15

(13) 水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定状況

①河川

基準値単位：mg/L

河川 No.	河川名	水域 No.	環境基準類型指定水域名	類型	基準値 (旧類型)	水域の範囲	達成期間	利用目的	環境基準点	指 定 年月日	※当初指定年月日	
1	比謝川	1	比謝川 (1)	B	3	比謝橋下流のえん堤から与那原川合流点までと長田川	口	上水道用水	比謝川ポンプ場	H16. 3. 30	S49. 3. 4	
		2	比謝川 (2)	G	5	トニー橋から与那原川合流点まで	口	環境保全	トニー橋			
		3	比謝川 (3)	G	5	D	与那原川合流点から上流とハンザ川の昭和橋まで	イ	工業用水			与那原川合流点
2	国場川	4	国場川 (1)	C	5	明治橋から真玉橋まで	口	工業用水	那覇大橋	H16. 3. 30	S49. 3. 4	
		5	国場川 (2)	E	10	真玉橋から上流の一日橋までと長堂川の翔南製糖取水せきまで	ハ	環境保全	真玉橋			
3	満名川	6	満名川 (1)	A	2	B	伊野波川合流点から渡久地橋まで	イ	そのほか	渡久地橋	H16. 3. 30	S50. 3. 6
		7	満名川 (2)	A	2	-	伊野波川合流点から上流	口	農業用水	伊野波川合流点		
4	福地川	8	福地川	A	2	-	福地ダム及び福地川上流	イ	上水道用水	福地ダム	H16. 3. 30	S50. 3. 6
5	天願川	9	天願川 (1)	B	3	C	川崎ポンプ場えん堤から河口まで	イ	工業農業用水	河口	H16. 3. 30	S50. 9. 18
		10	天願川 (2)	B	3	-	川崎ポンプ場えん堤より上流と川崎川上流カニカラン川合流点まで	口	上水道用水	合流点下流100m		
6	漢那川	11	漢那川	A	2	-	沖縄県企業局取水場跡から上流	イ	水道用水	漢那ダム	H16. 3. 30	S51. 3. 18
7	羽地大川	12	羽地大川	A	2	-	川上橋下せきから上流	イ	水道農業用水	名護市取水点	H16. 3. 30	S51. 3. 18
8	我部祖河川	13	我部祖河川 (1)	A	2	-	喜知留川合流点から上流	イ	水道用水	石橋 (山田橋)	H16. 3. 30	S51. 3. 18
		14	我部祖河川 (2)	A	2	D	喜知留川合流点から下流の奈佐田川合流点まで	イ	農業用水	奈佐田川合流点から上流100m		
		15	我部祖河川 (3)	A	2	-	奈佐田川全域	口	水道用水	奈佐田川合流点から支川上流100m		
9	新川川	16	新川川 (1)	A	2	-	河口から新川ダムまで	イ	上水道用水	下流の高江橋	H16. 3. 30	S52. 4. 25
		17	新川川 (2)	A	2	-	新川ダムから上流	イ	水道用水	新川ダム		
10	安波川	18	安波川 (1)	A	2	B	河口から安波小中学校後方堰堤まで	イ	環境保全	安波大橋	H16. 3. 30	S52. 4. 25
		19	安波川 (2)	A	2	-	安波小中学校後方堰堤から上流	イ	自然環境保全	長福地橋		
11	普久川	20	普久川 (1)	A	2	B	安波川合流点から御拝橋上流400mの沢まで	イ	環境保全	御拝橋	H16. 3. 30	S52. 4. 25
		21	普久川 (2)	A	2	-	御拝橋上流400mの沢から上流	イ	水道用水	御拝橋上流420mの沢		
12	汀間川	22	汀間川 (1)	A	2	B	河口から三原小学校前堰堤まで	イ	環境保全	嘉手苅橋から上流200m	H16. 3. 30	S52. 4. 25
		23	汀間川 (2)	A	2	-	三原小学校前堰堤から上流	イ	水道用水	三原橋		
13	久茂地川	24	久茂地川	G	5	E	全域	イ	環境保全	泉崎橋	H16. 3. 30	S53. 3. 15
14	安里川	25	安里川	D	8	E	全域	イ	環境保全	安里新橋	H16. 3. 30	S53. 3. 15
15	安謝川	26	安謝川	G	5	E	全域	イ	環境保全	安謝橋	H16. 3. 30	S53. 3. 15
16	報得川	27	報得川	E	10	-	川尻橋から上流	口	環境保全	水位計設置点	H16. 3. 30	S54. 4. 9
17	牧港川	28	牧港川	C	5	-	宇地泊川合流点から上流の陽迎橋までと支川宇地泊川の比屋良川橋まで	イ	環境保全	境橋上流50m	H16. 3. 30	S55. 6. 12
										大謝名橋上流200m		
18	辺野喜川	29	辺野喜川	A	2	-	辺野喜橋から上流	イ	水道用水	辺野喜橋	H16. 3. 30	S57. 7. 12
19	饒波川	30	饒波川	D	8	-	全域	ハ	農業用水	石火矢橋	H16. 3. 30	S58. 7. 21
20	源河川	31	源河川	A	2	-	全域 (支川も含む。)	イ	水道用水	取水場	H16. 3. 30	S63. 3. 25
21	平南川	32	平南川	A	2	-	全域 (支川も含む。)	イ	水道用水	アザカ橋下流30m	H16. 3. 30	H1. 4. 25
22	大保川	33	大保川	A	2	B	大保大橋から上流全域 (支川も含む。)	イ	水道用水	田港橋	H16. 3. 30	H1. 4. 25
23	宮良川	34	宮良川	A	2	-	支川を含む全域 (底原ダムを除く。)	イ	水道用水	平喜名橋	H16. 3. 30	H2. 1. 16
24	名蔵川	35	名蔵川	A	2	-	支川を含む全域	イ	水道用水	石糖取水場前	H16. 3. 30	H2. 1. 16
25	雄樋川	36	雄樋川	D	8	-	全域 (支流も含む。)	口	農業用水	前川 (前川橋)	H16. 3. 30	H9. 2. 28
									環境保全	石川橋		

※水域名下線表記地点は、平成16年度から類型見直し (上位類型に) を行った水域

※平成25年3月12日、比謝川の水域類型指定改正。比謝川 (2) を廃止し、比謝川 (1) 及び比謝川 (3) の2水域の指定に改正。

達成期間の分類は、次のとおりとする。 (1)「イ」は、直ちに達成、(2)「口」は、五年以内で可及的速やかに達成、(3)「ハ」は、五年を超える期間で可及的速やかに達成。

3 水質関係

②海域

基準値単位：mg/L

海域No.	水域No.	環境基準類型指定水域名	類型	基準値	水域の範囲	達成期間	利用目的	環境基準点	指 定年月日
1	1	中城湾	A	2	勝連半島から南部知念半島に至る沿岸と沖合の離島久高島、津堅島に囲まれた全域	イ	水産資源 水浴	当添海岸 北緯26° 11' 東経127° 47'	S50.3.6
								湾内2 北緯26° 16' 東経127° 50'	
								湾内3 北緯26° 12' 東経127° 50'	
2	2	与勝海域	A	2	勝連崎、北緯26° 16' 東経128° 01'、北緯26° 25' 東経128° 01'、北緯26° 25' 東経128°、北緯26° 22' 東経127° 56'、東経127° 56'・海中道路との交差点を結ぶ線と海中道路、勝連半島に囲まれた全域	イ	水産資源 水浴	埋立地西海岸 北緯26° 22' 東経127° 57'	S50.3.6
3	3	金武湾	A	2	海中道路、海中道路・東経127° 56'、北緯26° 22' 東経127° 56'、北緯26° 25' 東経128°の各点と金武岬を結ぶ線とその沿岸に囲まれた全域	イ	水産資源 水浴	天願川河口地先 北緯26° 22' 東経127° 53' 石川ピーチ沖 北緯26° 25' 東経127° 50' 30" 湾口中央 北緯26° 25' 東経127° 58'	S50.3.6
4	4	那覇港海域	A	2	安謝埋立地北側先端、北緯26° 14' 30" 東経127° 39' 30"（自謝加瀬）、北緯26° 13' 東経127° 38' 30"（浅ノ瀬）、北緯26° 12' 30" 東経127° 38' 30"（儀間ノ瀬）、北緯26° 12' 30"・陸地との交差点の各点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	口	港湾 水産資源	那覇港沖 北緯26° 13' 15" 東経127° 39' 25" 那覇港内 北緯26° 12' 20" 東経127° 40' 20" 那覇新港入口 北緯26° 13' 50" 東経127° 40' 45" 泊港内 北緯26° 13' 15" 東経127° 41' 05" 自謝加瀬東 北緯26° 14' 30" 東経127° 39' 45"	S51.3.18
5	5	名護湾海域	A	2	部瀬名岬と名護市と本部町の境界を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源	名護海岸 北緯26° 35' 00" 東経127° 58' 30" 湾内 北緯26° 34' 00" 東経127° 57' 00" 部間海岸 北緯26° 36' 00" 東経127° 54'	S51.3.18
6	6	宮古海域 平良港海域	A	2	北緯24度48分48秒、東経125度17分を中心とする半径3.5kmの円内の海域	口	港湾 水産資源 水浴	第3埠頭北端から北へ300m 北緯24° 48' 25" 東経125° 16' 34"	S52.4.25
7	7	石垣港海域 八重山海域	A	2	川ハナ三角点（北緯24度20分48秒、東経124度8分52秒）から方位角253度10分の向きに距離420mの地点を中心とする半径3.8kmの円内の海域	口	港湾 水産資源 水浴	浜崎地区南埠頭埋立予定地から西へ300m 北緯24° 20' 03" 東経124° 08' 38"	S52.4.25
8	8	川平湾海域	A	2	点イと点ロを結ぶ直線、点ハと基点2を結ぶ直線及びその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源	小島南先端と双葉地先を結ぶ線上の中心点 北緯24° 27' 00" 東経124° 08' 50"	S52.4.25
9	9	羽地内海(1)	B	3	沖縄本島沿岸、奥武橋、奥武島沿岸、直線A1及び直線A2に囲まれた区域	口	水産資源	仲尾次漁港西埠頭から北西100m 北緯26° 37' 30" 東経128° 01' 40" 呉我船揚場から北400m 北緯26° 37' 45" 東経128° 00' 30"	S57.6.3
	10	羽地内海(2)	A	2	沖縄本島沿岸、直線A1、直線A2、奥武島、屋我地大橋、屋我地島沿岸及び直線Bに囲まれた区域	イ	水産資源	羽地内海中央 北緯26° 38' 40" 東経128° 00' 45" 内海北水路南端 北緯26° 39' 25" 東経127° 59' 40"	S57.6.3

10	11	糸満海域	A	2	北緯26° 09' 00" 東経127° 40' 11"、北緯26° 09' 00" 東経127° 38' 23"、北緯26° 06' 09" 東経127° 38' 23"、北緯26° 06' 09" 東経127° 39' 49"の各点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	港湾 水産資源	糸満漁港 北緯26° 07' 33" 東経127° 39' 38"	S60.9.13
								糸満漁港沖 北緯26° 07' 24" 東経127° 39' 00"	
								岡波岩東 北緯26° 08' 15" 東経127° 38' 40"	
11	12	恩納海域	A	2	読谷村残波岬の北端、北緯26° 32' 29" 東経127° 54' 23"の点、名護市部瀬名岬の西端の各地点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源 水浴	伊武部海岸地先 北緯26° 31' 30" 東経127° 55' 42"	H6.4.22
								恩納漁港地先 北緯26° 30' 00" 東経127° 51' 26"	
								富着海岸地先 北緯26° 27' 08" 東経127° 48' 38"	
								長浜海岸地先 北緯26° 25' 21" 東経127° 44' 26"	

(備考)

1. 類型の欄のA, B, C, D及びEには、河川に係るものにあつては昭和46年12月28日付け環境庁告示第59号別表2の1の(1)アの河川の表の類型、海域に係るものにあつては同告示別表2の2アの表の類型を示す。
2. 達成期間の分類は次のとおりとする。
「イ」は、直ちに達成
「ロ」は、5年以内で可及的速やかに達成
「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成
3. 川平湾海域の基点及び点の位置
基点1 石垣市字川平地先 俗称 チャバンチキ離
基点2 石垣市大字川平小字仲筋1131-8地先の岩
点イ 基点1から123度9分412mの点
点ロ 基点1から304度1分25mの点
点ハ 基点2から352度36分42mの点
4. 羽地内海の直線
「直線A1」とは奥武島南端から東経128度00分55秒と沖縄本島沿岸との交点(点イ)に引いた直線。
「直線A2」とは点イから北緯26度38分と沖縄本島沿岸との交点に引いた直線。
「直線B」とは点イから北緯26度40分45秒と沖縄本島沿岸との交点と東経128度00分43秒と屋我地島との交点を結ぶ直線。
5. 北緯、東経の座標については、類型指定当時で使用されていた旧測地系(日本測地系)による

生活環境保全に関する環境基準(河川)

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質(SS)	溶存酸素量(DO)	大腸菌数
AA	水道1級・自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	20CFU/100mL以下
A	水道2級・水産1級及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU/100mL以下
B	水道3級・水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	1,000CFU/100mL以下
C	水産3級・工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級・農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級・環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—

生活環境保全に関する環境基準(海域)

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度(pH)	化学的酸素要求量(COD)	溶存酸素量(DO)	大腸菌数	n-ヘキサン抽出物質(油分等)
A	水産1級・自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU/100mL以下	
B	水産2級・工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/L以下	5mg/L以上	—	
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/L以下	2mg/L以上	—	

(15) 水質汚濁防止法に基づく改善命令等の発動状況

年 度	内 訳			命令後の状況
昭和 50	改善命令	生コンクリート製造業	1件	改善済み 2件
		電気メッキ業	1件	
	排水水の排出の 一時停止命令	電気メッキ業	1件	改善済み 1件
昭和 51	改善命令	電気メッキ業	1件	改善済み 2件
		と畜業	1件	
昭和 52	改善命令	検査業	1件	改善済み 2件
		写真現像業	1件	
昭和 53	改善命令	飲料製造業	1件	改善済み 9件
		畜産農業	2件	
		果実の保存食料製造業	6件	
昭和 54～60	なし			
昭和 61	改善命令	電気メッキ業	1件	改善済み 1件
昭和 62～平成 6	なし			
平成 7	改善命令	食料品製造業	1件	改善済み 1件
平成 8～9	なし			
平成 10	改善命令	旅館業	1件	改善済み 1件
平成 11～23	なし			
平成 24	改善命令	食料品製造業	1件	改善済み 1件
平 25～令和6	なし			